

医史学関係文献目録 (五十音順)

平成6年(1994)年

順天堂大学医史学研究室編

- | | |
|--------------|-----------|
| 01 単行本 | 20 産婦人科史 |
| 02 医学切手・書画 | 21 齒学史 |
| 03 医学教育 | 22 史跡・記念碑 |
| 04 医学用語 | 23 疾病史 |
| 05 医師会・学会 | 24 耳鼻咽喉科史 |
| 06 医史学一般 | 25 種痘史 |
| 07 医の倫理 | 26 獣医学史 |
| 08 医療器械 | 27 書簡 |
| 09 医療制度史・医療史 | 28 書誌学 |
| 10 衛生・公衆衛生史 | 29 小児科史 |
| 11 解剖学史 | 30 神経学史 |
| 12 眼科史 | 31 診断学史 |
| 13 看護史 | 32 整形外科史 |
| 14 寄生虫学史 | 33 精神医学史 |
| 15 教室史 | 34 生物学史 |
| 16 軍陣医学史 | 35 西洋医学史 |
| 17 形成外科史 | 36 生化学史 |
| 18 外科史 | 37 生理学史 |
| 19 細菌学史 | 38 地方史 |

- | | |
|-------------|-----------------|
| 39 治療史 | 52 法医学史 |
| 40 伝記 | 53 放射線医学史 |
| 41 伝記(双) | 54 本草学史・博物学史 |
| 42 伝染病史・防疫史 | 55 麻酔学史 |
| 43 東洋医学史 | 56 門人録 |
| 44 内科史 | 57 薬学史 |
| 45 皮膚科史 | 58 蘭学史 |
| 46 泌尿器科史 | 59 リハビリテーション関係史 |
| 47 病院学 | 60 検査 |
| 48 病跡史 | 61 その他 |
| 49 病理学史 | 62 中国語文献 |
| 50 風俗史 | 63 韓国語文献 |
| 51 仏教医学史 | 64 欧文献 |

今回は14、15、34、36、46、49、56、58にあたる文献はありません。

01 単行本

『新潟大学医学部七十五年史 上巻』新潟大学医学部学士会
『新潟大学医学部七十五年史 下巻』新潟大学医学部学士会
『リンネと博物学—自然誌科学の源流—』千葉県立中央博物館
Diabetes Journal編集委員会『日本における糖尿病の歴史』
山之内製薬
員弁郡医師会百年史編纂委員会『員弁郡医師会百年史』
浮羽郡医師会『浮羽郡医師会史 幕末より終戦まで』

エドワード・クック著 中村妙子・友枝久美子訳『ナイチンゲール〔その生涯と思想〕Ⅲ』時空出版
(社)大阪府眼科医会『大阪の眼科100年 社団法人大阪府眼科医会100周年記念誌』
上林茂暢、坂口志朗『ハイテク医療の功罪』
精神科医療史研究会『長山泰政先生著作集』長山泰政先生著作集刊行会
高山直秀訳、中原泉解説『ハンター 人の歯の博物学』デンタルフォーラム
千葉県三『おもしろ科学ライブラリー7 近代医学への道をひらく(ベサリウス)(ハーベール)』あかね書房
千葉県三『おもしろ科学ライブラリー8 日本医学の夜明け(杉田玄白)(華岡青洲)』あかね書房
千葉県三『おもしろ科学ライブラリー9 伝染病とたたかう(ジェンナー)(パスツール)』あかね書房
千葉県三『おもしろ科学ライブラリー10 病原体をつきとめた人びと(ゴッホと北里柴三郎)(野口英世)』あかね書房
千葉県三『おもしろ科学ライブラリー11 「がん」のなぞにこだむ(ウイルヒョウ)(山極勝三郎)』あかね書房
千葉県三『おもしろ科学ライブラリー12 エイズ・現代医学の挑戦(モンタニエ)』あかね書房
C.P.ツェンベリー著 高橋文訳『江戸参府随日記』平凡社(東洋文庫583)
中原泉『人体構造論抄 ―ヴェサリウスのthe Epitome―』南

江堂
西山茂夫監修『皮膚科の病名由来ア・ラ・カルト』協和企画通信
濱中淑彦『研究業績目録 濱中淑彦教授還暦記念 自1995年4月至1993年3月』名古屋市立大学医学部精神医学教室
人吉球磨漢方研究会編『弁脈・平脈・傷寒例―傷寒論序章』新樹社書林
松尾信一『馬の文化叢書7 馬学 一馬を科学する』馬事文化財団
森川潤『明治初年のドイツ留学生』広島修道大学研究叢書(85) 広島修道大学総合研究所
ユルゲン・トールワルト著 大野和基訳・深瀬泰旦解説『外科の夜明け(地球人ライブラリー)』小学館
吉元昭治『養生外史 中国篇』医道の日本社
吉元昭治『養生外史 日本篇』医道の日本社
ラルフ・C・クロイツァー著 難波恒雄・難波洋子・大塚恭男訳『近代中国の伝統医学』創元社
陸別町役場広報広聴町史編纂室『陸別町史 別巻』

02 医学切手・書画

「メディカルフィラテリー '93世界精神保健連盟世界会議」石原理年『医譚』(66)3900
「メディカルフィラテリー 第28回日本理学療法士学会 26 聖人殉教記念碑」石原理年『医譚』(66)3894
「メディカルフィラテリー 第7回世界超音波医学学術連合

- 大会 宝塚市立手塚治虫記念館」石原理年『医譚』(67)3942
 「メディカルフィラテリー 山脇社中解剖供養碑と東洋夫妻
 墓碑 長富独嘯庵先生」石原理年『医譚』(67)3948
 「医学切手美術館27 点滴」河瀬正晴『透析ライフ』(50)25
 「医学切手美術館28 遺伝子診断と遺伝子治療」河瀬正晴『透
 析ライフ』(51)25
 「ノーベル賞授賞切手 発見の時代切手」河瀬正晴『WAKO
 NOWS』(39)
 「移植関連法律制定記念切手 腎臓移植宣伝切手」河瀬正晴
 『WAKO NOWS』(40)
 「切手で見る免疫血液学(93)Newton-ring」河瀬正晴『Medi-
 cal Postgraduates』32(1)83
 「切手で見る免疫血液学(94)ワクチン」河瀬正晴『Medical
 Postgraduates』32(2)84
 「切手で見る免疫血液学(95)HIV母子感染」河瀬正晴『Medi-
 cal Postgraduates』32(2)185
 「切手で見る免疫血液学(96)Leonardo da Vinciの解剖図」河
 瀬正晴『Medical Postgraduates』32(2)186
 「近世日本の医薬界における神農画賛流行の背景(例)」小曾
 戸洋『日本医史学雑誌』40(3)333-334

03 医学教育

- 「函館医学校記録」石崎達『日本医史学雑誌』40(2)155-184
 「甲状腺を巡って生涯教育における医史学(抄)」大村敏郎『医

学教育』25(5)318-319

- 「済生学舎廃校の歴史」唐沢信安『日本医史学雑誌』40(3)
 293-304
 「医学看護関係の学校の卒業アルバム 二、三」長門谷洋治
 『北陸医史』15(1)59-65
 「医学教育への薬学の協力(抄)」中室嘉祐『日本医史学雑誌』
 40(1)32-33
 「健康教育と栄養教育(1)健康教育の歴史と栄養教育」吉田亨
 『臨床栄養』85(3)317-323

04 医学用語

- 「病名の由来(1)本態性高血圧症」深瀬泰旦『Medical Tech-
 nology』22(1)18
 「病名の由来(2)クレチン病」深瀬泰旦『Medical Technol-
 ogy』22(2)99
 「病名の由来(3)粘液水腫」深瀬泰旦『Medical Technology』
 22(3)161
 「病名の由来(4)狭心症」深瀬泰旦『Medical Technology』
 22(4)277
 「病名の由来(5)亜急性硬化性全脳炎(SSPE)」深瀬泰旦
 『Medical Technology』22(5)356
 「病名の由来(6)心筋梗塞」深瀬泰旦『Medical Technology』
 22(6)439
 「病名の由来(7)未熟児網膜炎」深瀬泰旦『Medical Technol-

ogy』22(8)700

「病名の由来(8)核黄疸」深瀬泰旦『Medical Technology』22(9)776

「病名の由来(9)乳児突然死症候群」深瀬泰旦『Medical Technology』22(10)838

「病名の由来(10)新生児溶血症」深瀬泰旦『Medical Technology』22(11)954

「病名の由来(11)手足口病」深瀬泰旦『Medical Technology』22(12)1076

「病名の由来(12)ヘルペス」深瀬泰旦『Medical Technology』22(13)1108

05 医師会・学会

「JSCP(日本臨床病理学会)の国際交流の歴史と展望」河合忠『臨床病理』42(5)433-437

「日本の医師の中のキャリアの研究(その1)日本学士院会員」中野進、指宿照久、山脇敬子『京都医学会雑誌』41(1)113-120

「日本の医師の中のキャリアの研究(その2)日本医学会総会会頭と日本医師会長」中野進、山脇敬子『京都医学会雑誌』41(2)35-42

「第四回国際アジア伝統医学大会(The 4th International Congress on Traditional Asian Medicine)(記事)」真柳誠『日本医史学雑誌』40(4)491-492

06 医史学一般

「医学および歯科医学の歴史概説 史上の人々(1)古代」石橋真澄『日本臨床歯内療法学会雑誌』15(1)1-13

「医学史と旅①聴診器を巡ること」大村敏郎『けんさ』24(2)39-48

「医学史と旅②知られざる著名人ブラヴァーズの注射器と生地」の橋を訪ねて」大村敏郎『けんさ』24(3)31-41

「医学史ミニ博物館103 地方衛生研究所と「維新」-鳥取にて-」大村敏郎『医学のあゆみ』171(09)753

「医学史ミニ博物館104 賀川玄悦(子玄)のこと」大村敏郎『医学のあゆみ』171(12)947

「医療と歴史との接点を求めて 450年を経たヴェサリウスの解剖図」大村敏郎『医薬の門』34(1)60-63

「医療と歴史との接点を求めて 外科の守護聖人 聖コームと移植伝説」大村敏郎『医薬の門』34(2)133-137

「医療と歴史との接点を求めて 生誕500年を迎えたラプレーと医学」大村敏郎『医薬の門』34(3)180-183

「医療と歴史との接点を求めて「解体新書」には瘰という字がない」大村敏郎『医薬の門』34(4)234-237

「医療と歴史との接点を求めて 瘰の登場と宇田川玄真」大村敏郎『医薬の門』34(5)304-307

「医療と歴史との接点を求めて 没後100年を迎えるルイ・パスツール」大村敏郎『医薬の門』34(6)370-373

「『医外史』の研究(例)」小池猪一『日本医史学雑誌』40(2)

227-228

「寛政六年芝蘭堂新年會(A New Year Party)200年目のオランダ正月“蘭学事始”」酒井シヅ、大村敏郎『医学界新聞』(2074)1-7

「歴史の中の医療と健康(会議録)」篠田達明『健康医学』8(3)8-15

「世界の医療文化史(127)7.近代療法の道程 7-1-6.結核対策(続-2)」宗田一『Pharma Medica』12(1)170-173

「世界の医療文化史(128)7.近代療法の道程 7-2-1. エールリッヒの色素療法(続)」宗田一『Pharma Medica』12(2)188-193

「世界の医療文化史(129)7.近代療法の道程 7-2-2. エールリッヒの化学療法」宗田一『Pharma Medica』12(3)190-194

「世界の医療文化史(130)7.近代療法の道程 7-2-3. 細菌性感染症の化学療法」宗田一『Pharma Medica』12(4)154-158

「世界の医療文化史(131)7.近代療法の道程Prontosil」宗田一『Pharma Medica』12(5)154-158

「世界の医療文化史(132)7.近代療法の道程 サルファ剤の別の流れ」宗田一『Pharma Medica』12(6)146-150

「世界の医療文化史(133)7.近代療法の道程 フレミングの研究」宗田一『Pharma Medica』12(7)164-168

「世界の医療文化史(134)7.近代療法の道程 ペニシリンの

最発見と実用化」宗田一『Pharma Medica』12(8)162-166

「世界の医療文化史(135)7.近代療法の道程 フローリーとチェーン(続)」宗田一『Pharma Medica』12(9)190-194

「世界の医療文化史(136)7.近代療法の道程ストレプトマイシンの発見」宗田一『Pharma Medica』12(10)138-142

「世界の医療文化史(137)7.近代療法の道程 7-3-1代償療法剤ホルモンの発見」宗田一『Pharma Medica』12(11)186-190

「世界の医療文化史(138)7.近代療法の道程 インスリン(続)」宗田一『Pharma Medica』12(12)160-164

「漂流資料を用いた医史学研究的試み」多留淳文『北陸医史』15(1)27-32

「疾病対策の構造 特定病因説の科学史(2)~(3)」長野敬『公衆衛生』58(101半)716-718,806-808

「明治日本の医学・医療」原健二『地域医学』8(2)11-14

「金沢貞顕文書の医史学的研究」樋口誠太郎『日本医史学雑誌』40(2)185-200

「医史学的視点からみた『立山遊記』」正橋剛二『北陸医史』15(1)9-17

「日本の医学史から 東漸北上と西漸南下(総説)」松木明知『福島県農村医学会雑誌』36(1)1-5

07 医の倫理

「インフォームド・コンセントその歴史と実践目標」岡安大

仁『デンタルダイヤモンド19』(7)14-17
「ターミナルケア インフォームド・コンセントと医の倫理
終末期医療の関わりとその歴史的背景」小越和栄『県立が
んセンター新潟病院医誌』33(1)9-11
「江戸期における先達の医訓」松田邦夫『日本東洋医学雑誌』
44(3)275-280
「インフォームド・コンセントの歴史的必然性」武藤輝一『臨
床外科』49(9)1085-1087

08 医療器械

「ストーマ機器の歴史：その進歩と解決課題」穴沢貞夫『医
科器械学』64(4)157

09 医療制度史・医療史

「医療の変革期に想う 医療の発展の歴史と今後の問題点」
阿部裕、野村誠『新医療』21(4)40-42
「人権としての社会保障・健康権の歴史と展望」井上英夫『社
会医学研究』(13)1-11
「衛生制度の開拓者たち 明治はじめ京都における政策をめぐ
って 洋式病院の登場」小野尚香『保健婦雑誌』50(1)72-75
「衛生制度の開拓者たち 明治はじめ京都における政策をめぐ
って 3人の「お雇い外国人」」小野尚香『保健婦雑誌』50(2)
154-157
「衛生制度の開拓者たち 明治はじめ京都における政策をめぐ

って 精神衛生のあけぼの」小野尚香『保健婦雑誌』50(3)
240-243

「衛生制度の開拓者たち 明治はじめ京都における政策をめぐ
って 「癲狂院」の医学的背景」小野尚香『保健婦雑誌』50(4)
326-329

「衛生制度の開拓者たち 明治はじめ京都における政策をめぐ
って 梅毒の蔓延とその対策」小野尚香『保健婦雑誌』50(5)
410-413

「衛生制度の開拓者たち 明治はじめ京都における政策をめぐ
って 京都府舎密局」小野尚香『保健婦雑誌』50(6)492-495

「衛生制度の開拓者たち 明治はじめ京都における政策をめぐ
って 薬局[アポテーキ]」小野尚香『保健婦雑誌』50(7)578-581

「衛生制度の開拓者たち 明治はじめ京都における政策をめぐ
って 鉱泉の活用」小野尚香『保健婦雑誌』50(9)744-747

「衛生制度の開拓者たち 明治はじめ京都における政策をめぐ
って 京都看病婦学校」小野尚香『保健婦雑誌』50(10)824-827

「衛生制度の開拓者たち 明治はじめ京都における政策をめぐ
って 看護専門職の萌芽」小野尚香『保健婦雑誌』50(11)
904-907

「衛生制度の開拓者たち 明治はじめ京都における政策をめぐ
って 医師の免許制度」小野尚香『保健婦雑誌』50(13)
1112-1115

「個の医療」笠木茂伸『河医研研究年報』(44)37-39

「幕末および明治中期における日本プロテスタント・ミッ

ションの医療伝道について(抄) 高安伸子『日本医史学雑誌』40(1)12-13

「日本の保健改正 中央地方統治関係の観点からの歴史的概略(英文)」中原俊隆『公衆衛生研究』43(4)422-430

「近代医療史(22)血液・尿検査法の開発」原健二『地域医学』8(3)145-148

「近代医療史(23)ワッセルマンの時代」原健二『地域医学』8(4)200-203

「近代医療史(24)赤十字と済生会の発祥」原健二『地域医学』8(5)246-249

「近代医療史(25)漢方の盛衰」原健二『地域医学』8(6)311-314

「近代医療史(26)ヘモグロビン研究」原健二『地域医学』8(7)373-377

「近代医療史(27)食事指導の歴史的根拠」原健二『地域医学』8(8)432-435

「近代医療史(28)女医列伝」原健二『地域医学』8(9)486-489

「近代医療史(29)消化器系疾患治療薬の開発」原健二『地域医学』8(10)527-530

「近代医療史(30)黎明期のウイルス学」原健二『地域医学』8(11)583-586

10 衛生・公衆衛生史

「環境保健の今後の展開 概念の確立と方法を求める 公衆衛生における環境保健の歴史と位置づけ(会議録)」青山英

康『日本公衆衛生雑誌』41(10付録)34

「黎明期の労働衛生史<120> [生糸]に生きた人びと ヨコハマ開港①ペリー」乾修然『労働衛生ジャーナル』(217)3

「黎明期の労働衛生史<121> [生糸]に生きた人びと ヨコハマ開港②ハリス(上)」乾修然『労働衛生ジャーナル』(218)3

「近代日本における社会衛生学の展開とその特質」瀧澤利行『日本医史学雑誌』40(2)111-132

「大日本私立衛生会と同会金沢支会について」橋本和夫『北陸医史』15(1)66-67

「大正時代の労働衛生学」松藤元『労働科学』70(10)474-491

「戦後日本の公衆衛生番外篇 公衆衛生の歴史 セネガルの暑い秋」丸井英二『保健の科学』36(1)34-37

「資料 労働観私論(V) -19世紀末の日本の労働観-」三浦豊彦『労働科学』70(2)57-76

「資料 労働観私論(VI) -20世紀初頭の日本の労働観-」三浦豊彦『労働科学』70(7)316-333

「資料 労働観私論(VII) -1920年ころの日本の労働観-」三浦豊彦『労働科学』70(9)419-435

「続サテライト通信(48)明治35年(1902)の福島県の凶作」三浦豊彦『労働の科学』49(01)50-51

「続サテライト通信(49)本を処分する」三浦豊彦『労働の科学』49(2)122-123

「続サテライト通信(50)マダニとライム病」三浦豊彦『労働の科学』49(3)190-191

- 「続サテライト通信(51)人間としての医の倫理」三浦豊彦『労働の科学』49(4)254-257
- 「続サテライト通信(52)ラヴォワジェ没後200年」三浦豊彦『労働の科学』49(5)332-333
- 「続サテライト通信(53)夏目漱石の『抗夫』」三浦豊彦『労働の科学』49(6)402-403
- 「続サテライト通信(54)アメリカの熱気球事故」三浦豊彦『労働の科学』49(7)476-477
- 「続サテライト通信(55)1970-1990年の日本の熱中症死」三浦豊彦『労働の科学』49(8)504-505
- 「続サテライト通信(56)GHQの検閲—幻の『労働科学』第24巻、第6号(1948年)—」三浦豊彦『労働の科学』49(9)604-605
- 「続サテライト通信(57)ある写真展」三浦豊彦『労働の科学』49(10)658-659
- 「続サテライト通信(58)5000年前の新石器時代人」三浦豊彦『労働の科学』49(11)710-711
- 「続サテライト通信(59)2人の産業医の生誕500年—バラケルスとアグリコラー」三浦豊彦『労働の科学』49(12)822-825
- 「保健衛生調査会第七部関係の三報告—農村保健衛生実地調査成績—(第一報)」三浦豊彦『科学医学資料研究』(240)1-8

11 解剖学史

- 「宝暦六年の人体解剖図」磯野直秀『科学医学資料研究』(240)9-12

- 「近世日本における解剖観について」潮田恒明『木崎良平先生古稀記念論文集『世界史説苑』』241-252
- 「解体新書にみられる謎(13)－(15)」大城孟『Medical Post-graduates』32(1-3)13-28,97-120,197-220
- 「解体新書にみられる謎(16)(図説)」大城孟『Medical Post-graduates』32(4)289-312
- 「『解体新書』の原著」蔵方宏昌『複製『解体新書 序回の巻』』20-23
- 「三浦梅園における動物解剖の視座(下)－[解蛇記] [解蛇説記]を素材として」近藤均『梅園学会報』(19)50-57
- 「動物解剖学から見た古典の解剖学書・解剖図の再評価について」澤野啓一『科学医学資料研究』(238)5-11
- 「肝区域定義の歴史的背景」菅原克彦、山本正之『胆と脾』15(1)1-9
- 「人名がついたMeSH用語 消化器系の解剖学用語に名を残した人々」堀江幸司『医学図書館』41(3)336-340
- 「脳を固める・切る・染める 第3回～第6回 一先人の智恵—」萬年甫『Brain Medical』6(1-4)71-72, 183-186, 293-296, 415-419

12 眼科史

- 「京都の眼科医たち」奥沢康正『啓迪』(12)15-21
- 「コンタクトレンズと角膜生理 その研究の歴史」三島濟一『日本コンタクトレンズ学会誌』36(1)1-12

- 「白内障手術の歴史(1)～(3)(会議録)」三島濟一『臨床眼科』48(8-10)1490-1493, 1654-1657, 1792-1795
- 「白内障手術の歴史(4)(会議録)」三島濟一『臨床眼科』48(12)1904-1908

13 看護史

- 「家族制度が〔子産み〕にもたらした影響の歴史の変遷について 法制史の観点より」穂村郁代『日本看護研究学会雑誌』17(3)84
- 「クリニカル・ナース・スペシャリスト(CNS)の役割の歴史的概観」Ann B. Hamric『看護研究』27(5)353-368
- 「私が見聞した看護の歴史①～②」大森文子『看護』46(12-13)88-96, 168-173
- 「私が見聞した看護の歴史③」大森文子『看護』46(15)130-136
- 「看護の歴史の変遷(Part1)家政学と看護学の関係に関する一考察 高知女子大学家政学部看護学科の創設の状況」岡田麗江『神戸市立看護短期大学紀要』(13)51-54
- 「イギリスの近代看護創設期における社会史的アプローチ “首都救貧法” 成立過程にみるナイチンゲールの影響」金井一薫『日本看護学会25回集録』(看総合)73-75
- 「[日本の看護の歴史]を教育史の視点から読む 看護教育の萌芽、明治の教育から」近藤裕子『徳島大学医療技術短期大学紀要』(4)7-13
- 「訪問看護のルーツを探る(抄)」坂本玄子『神奈川医学会雑誌』

21(2)345

- 「NICUの看護婦の役割について 未熟児看護の歴史からの検討」佐々木和枝『日本看護学会25回集録 小児看』68-70
- 「江戸時代末期より明治初期の産婆教育 長谷川泰と東京府間の往復文書と他文献に見る産婆個人の教育より」高橋みや子『日本看護研究学会雑誌』17(3)83-84
- 「教本〔とりあげばば心得草巻之上・下〕に見る産婆の実践活動と教育」高橋みや子『日本看護研究学会雑誌』(17)102
- 「近代日本における産婆教育制度成立過程に関する研究」高橋みや子『平成4,5年度科学研究費補助金(一般研究C)』
- 「山形県における近代産婆制度成立過程—法制史の観点より」高橋みや子『日本看護研究学会雑誌』(17臨時増刊)101
- 「看護婦の労働条件と雇用状態・保健婦・助産婦・看護婦の休暇・休日・休憩に関する実態」高橋みや子『現代日本看護名著集成解題』43-46
- 「病院看護の諸問題・看護労働の諸問題」高橋みや子『現代日本看護名著集成解題』39-42
- 「米国の専門看護婦制度その歴史と現状」田中勝子『ナースング・トゥデイ』9(6)40-47
- 「新看護体系が与えるインパクト〔付添看護〕の歴史と現状」林千冬『看護学雑誌』58(12)1094-1096
- 「看護学生の清潔習慣に関する実態調査」平尾真知子『平成6年度東京都看護協会看護研究学会演題集録』14-16
- 「看護学校教科内容参考書」平尾真知子『現代日本看護名著

集成解説』21-24

「明治12年の雑誌に紹介されたアメリカの看護学校」平尾真知子『第38回教育史学会大会発表要綱集録』44-45

「看護の歴史的変遷(Part2)古代の救療の状況と穢の觀念についての一考察」細見明代、板倉勲子『神戸市立看護短期大学紀要』(13)55-60

16 軍陣医学史

「明治期の陸軍看護術」黒澤嘉幸『日本医史学雑誌』40(2) 201-209

「明治初期の軍医学校(抄)」黒澤嘉幸『日本医史学雑誌』40(1) 66-67

「〔横浜軍陣病院〕御使番詰所の研究」中西淳朗『保険医の臨床』(340)10-14

「〔横浜軍陣病院〕御使番詰所の研究(抄)」中西淳朗『神奈川医学会雑誌』21(2)345-346

「〔横浜軍陣病院〕の再検討」中西淳朗『日本医史学雑誌』40(1) 5-9

「太田陣屋の研究〔横浜軍陣病院〕の再検討から」中西淳朗『保険医の臨床』(341)6-13

「幕末薩摩藩と大円寺(例)」中西淳朗『日本医史学雑誌』40(3) 328-329

「横浜・太田陣屋の研究(例)」中西淳朗『日本医史学雑誌』40(3)331-332

17 形成外科史

「日本における近代医学の黎明」酒井シヅ『整形外科』45(11) 1549-1553

「〔野口英世の手〕に関する手の外科的一考察」平瀬雄一『形成外科』37(3)339-345

18 外科史

「レーザー医学の歴史からみた現代の課題と未来の方向」渥美和彦『Johns』10(6)723-729

「ストーマ機器の歴史 その進歩と発展(総説)」穴沢貞夫『医科器械学』64(8)350-355

「智児蔓斯(チルマンズ)氏外科総論にみられる麻酔的事項(抄)」石橋肇、渋谷敏、吉井秀鏑、山口秀紀、佐久間優、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』20(2)120-121

「臓器移植の歴史」糸川英樹『日本保険医学会誌』(92)69-71

「回腸肛門吻合術 一つの術式の発達の歴史」宇都宮讓二『日本大腸肛門病学会雑誌』47(6)467-475

「医療用不織布の歴史的経過と今後の展望」大川共一、高岡雅子『医科器械学』54(8)381-384

「高嶺徳明の補唇術についての一考察」大鶴正満『沖縄県医師会報』(305)24-29

「異端外科外史その三 ミイラ作り」加藤静雄『ミクロスコピア』11(2)127-129

「William Stewart Halsted(1852-1922)の乳房切除術」酒

井シヅ『Mamma』(19)表2

「小児内視鏡(腹腔鏡、胸腔鏡)下手術の現況 腹腔鏡下手術の歴史」出月康夫、窪田敬一『小児外科』26(8)925-928

「器械吻合の歴史と進歩と問題点」中山隆市『臨床外科』49(10)1223-1231

「感染防止の立場からみた建築設備バイオクリーン手術室その歴史と効用と将来に向けての問題」西松秀和、秋山泰高、栗原康雄『Infection Control』3(5)479-488

「気管手術の歴史と発展(抄)(英文)」Pearson F.C.『日本呼吸器外科学会雑誌』8(4)438-440

「人工心肺の歴史(総説)」藤倉一郎『医科器械学』64(9)398-401

「結核外科における肋膜外合成樹脂充填術(資)」藤倉一郎、藤倉知子『日本医史学雑誌』40(2)211-216

「カスパル流外科について(抄)」ヴォルフガング・ミヒェル『日本医史学雑誌』40(1)26-27

「華岡流の図説書(抄)」真柳誠『日本医史学雑誌』40(1)80-81

19 細菌学史

「医学真菌学の歴史における一里塚：表層真菌症(英文)」Ajello Libero『日本医真菌学会雑誌』35(1)75-82

「ベスト菌発見100年に想う」玉城英彦『保健の科学』36(12)829-832

20 産婦人科史

「馬王堆『南方禹臧』図考(抄)」猪飼祥夫『日本医史学雑誌』40(1)90-91

「『撒氏産論』の原著者ゴートリープ・サロモンについて(抄)」石原力『日本医史学雑誌』40(1)30-31

「助産婦の歴史(125-136)」石原力『ペリネイタルケア』13(1-12)54-55, 166-167, 266-267, 320-321, 412-413, 532-533, 600-601, 708-709, 816-817, 916-917, 984-985, 1098-1099

「助産婦の役割 少産の時代を迎えて 助産婦の歴史」岡本喜代子『Nurse eye』7(6)6-11

「先人たちは性医学をどう学んだか(第2報)」斎藤三朗『汐田総合病院医報』9(2)31-38

「周産期のペインコントロールの歴史」坂井哲博、松木明知『ペリネイタルケア』13(07)555-558

「腹圧性尿失禁手術 その歴史と最近の動向」下浦久芳、永田一郎『産婦人科の実際』43(9)1257-1265

「賀川流産科について(補遺)」杉立義一『啓迪』(12)4-8

「帝王切開 その歴史と現状」本多洋『母性衛生』35(1)15

「STDの歴史 梅毒からエイズまで」山本俊一『産婦人科治療』69(1)22-25

21 歯学史

「顎義歯 その歴史と背景」大山喬史『顎顔面補綴』17(2)82-89

「床矯正装置(Unimaxillary Appliance)の再評価 歴史的展望と臨床例ならびにその技工(第1回)」荻原和彦、河野寿一、尾崎順男、外1名『The Quintessence』19(1)102-109

「床矯正装置(Unimaxillary Appliance)の再評価 歴史的展望と臨床例ならびにその技工(第2回)」河野寿一、荻原和彦、尾崎順男、外1名『The Quintessence』19(2)80-89

「床矯正装置(Unimaxillary Appliance)の再評価 歴史的展望と臨床例ならびにその技工(第3回)」荻原和彦、河野寿一、尾崎順男、外1名『The Quintessence』19(3)402-416

「床矯正装置(Unimaxillary Appliance)の再評価 歴史的展望と臨床例ならびにその技工(第4回)」河野寿一、荻原和彦、尾崎順男、外1名『The Quintessence』19(4)528-539

「床矯正装置(Unimaxillary Appliance)の再評価 歴史的展望と臨床例ならびにその技工(第5回)」荻原和彦、河野寿一、尾崎順男、外1名『The Quintessence』19(5)654-657

「床矯正装置(Unimaxillary Appliance)の再評価 歴史的展望と臨床例ならびにその技工(第6回)」河野寿一、荻原和彦、尾崎順男、外1名『The Quintessence』19(6)770-779

「床矯正装置(Unimaxillary Appliance)の再評価 歴史的展望と臨床例ならびにその技工(第7回)」尾崎順男、内藤明、荻原和彦、外1名『The Quintessence』19(7)960-974

「床矯正装置(Unimaxillary Appliance)の再評価 歴史的展望と臨床例ならびにその技工(第8回)」尾崎順男、内藤明、荻原和彦、外1名『The Quintessence』19(8)1080-1090

「カナダに於ける歯科教育の歴史 第2報-歯科及び歯科教育の貢献者像-」尾島光荣、Kenji Kenneth Shimizu『日本歯科医史学会々誌』20(2)135-140

「60年前の歯科学学生の生活状況(抄)」落合俊輔、渋谷敏、石橋肇、吉井秀鏑、山口秀紀、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』20(2)116-117

「米国各州における歯科医師法制定の軌跡について(抄)」春日芳彦、森山徳長、田辺明、栗山美子、石川達也『日本歯科医史学会々誌』20(2)131-132

「グットマンのダイナミック歯科治療学(第2報)(抄)」金子義郎、豊永寿博、松中祐二、岩井貞雄、嶋村昭辰、上瀧口武『日本歯科医史学会々誌』20(2)104-106

「1888年ベルリン衛生試験所における北里柴三郎の写真について(2)(抄)」上瀧口武、上西秀則、萩原義郷、内山長司『日本歯科医史学会々誌』20(2)106-107

「九州歯科学会総会におけるW.Meyerについて(抄)」小林繁、福山宏、梶山稔、向野明甫、松中祐二、上西秀則、石木哲夫、上瀧口武『日本歯科医史学会々誌』20(2)102-103

「歯科用薬品の歴史 基礎と臨床 抗生物質 セフェム系臨床編」齋藤健一、道健一『歯科ジャーナル』39(6)877-883

「列伝 歯科を支えた偉大な人物史 石原久(1866-1941)」榊原悠紀田郎『The Quintessence』13(01)103-107

「列伝 歯科を支えた偉大な人物史 奥村鶴吉(1881-1959)」榊原悠紀田郎『The Quintessence』13(02)341-346

- 「列伝 歯科を支えた偉大な人物史 赤尾酔仙(1881-1969)」榎原悠紀田郎『The Quintessence』13(03)575-580
- 「列伝 歯科を支えた偉大な人物史 島峰徹(1877-1945)」榎原悠紀田郎『The Quintessence』13(04)809-814
- 「列伝 歯科を支えた偉大な人物史 守屋賢吾(1868-1957)」榎原悠紀田郎『The Quintessence』13(05)1035-1038
- 「列伝 歯科を支えた偉大な人物史 喜多見行正(1880-1967)」榎原悠紀田郎『The Quintessence』13(06)1269-1274
- 「列伝 歯科を支えた偉大な人物史 川上為次郎(1883-1950)」榎原悠紀田郎『The Quintessence』13(07)1463-1468
- 「列伝 歯科を支えた偉大な人物史 花澤 鼎(1886-1950)」榎原悠紀田郎『The Quintessence』13(08)1693-1698
- 「列伝 歯科を支えた偉大な人物史 緑川宗作(1884-1929)」榎原悠紀田郎『The Quintessence』13(09)1899-1903
- 「列伝 歯科を支えた偉大な人物史 遠藤至六郎(1885-1942)」榎原悠紀田郎『The Quintessence』13(10)2093-2098
- 「列伝 歯科を支えた偉大な人物史 寺木定芳(1883-1977)」榎原悠紀田郎『The Quintessence』13(11)2307-2311
- 「列伝 歯科を支えた偉大な人物史 岡田満(1886-1962)」榎原悠紀田郎『The Quintessence』13(12)2533-2535
- 「明治時代の小児科学書〔児科必携〕にみられる歯科口腔疾患の内容(抄)」佐久間優、渋谷敏、石橋肇、落合俊輔、向井康子、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』20(2)119-120
- 「最初期歯科 線診断学の文献的研究(第3報)(抄)」塩津二郎、森山徳長、亀谷博昭、福本裕、本間孝『日本歯科医史学会々誌』20(2)117-118
- 「第10回日本医学会における歯科と医史学的内容について(抄)」渋谷敏、石橋肇、大場重信、村木春長、渋谷幸男、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』20(2)113-114
- 「『ドクターヴァンデンボルグの古蹟を訪ねて』-日本歯科医学界の先達三人を育てた男-」渋谷敦、松本智一『日本歯科医史学会々誌』20(2)141-144
- 「羅葡日対訳辞書と和蘭字彙に見られる歯科関係用語について(抄)」嶋村昭辰『日本歯科医史学会々誌』20(2)
- 「小田野直武につながる角館(秋田)の歯科医(抄)」嶋村昭辰、内山長司、梶山稔、福山宏、小林繁『日本歯科医史学会々誌』20(2)108-109
- 「浮田幸吉の墓に就いて(抄)」新藤恵久、大野肅英『日本歯科医史学会々誌』20(2)107-108
- 「『御用控帳』にみる木床義歯(抄)」新藤恵久、長谷川弥『日本歯科医史学会々誌』20(2)109-110
- 「歯科医史からみた古事記(漢字の検証)(抄)」杉本茂春『日本歯科医史学会々誌』20(2)127-128
- 「スルフォン床義歯を考える 材料と物性の歴史と現況」谷勅行『東京都歯科医師会雑誌』42(11)631-635
- 「日本の自然や分化、歴史と美の概念および歯科における審美について」寺川国秀『歯科審美』7(1)37-44
- 「藤原定家の歯病に関する考察(抄)」戸出一郎、別部智司、

佐藤恭道、森田武、雨宮義弘『日本歯科医史学会々誌』20(2) 126-127
「床矯正装置(Unimaxillary Appliance)の再評価 歴史的展望と臨床例ならびにその技工(最終回)」内藤明、荻原和彦、尾崎順男、外1名『The Quintessence』19(9)1240-1258
「古代メソポタミアの歯学記述(1102. K)について(抄)」永田和弘『日本歯科医史学会々誌』20(2)130-131
「クラウン・ブリッジと歯科用金属の歴史(抄)」永松浩、内田康也、細川隆司『日本歯科医史学会々誌』20(2)99
「硬組織医学の史的背景(その1)(抄)」西巻明彦『日本歯科医史学会々誌』20(2)104
「象牙質神経線維に関する歴史の変遷について」西巻明彦『日本医史学雑誌』40(1)60-61
「蓄血証における歯科の研究(抄)」西巻明彦、屋代正幸『日本歯科医史学会々誌』20(2)129-130
「口腔清掃のシステム化を考える 歯磨剤の歴史的考察」長谷川正康『歯科ジャーナル』39(6)615-626
「歯牙保存療法としての亜硫酸製剤導入の起源(抄)」長谷川正康、森山徳長、石川達也『日本歯科医史学会々誌』20(2) 111-112
「明治大正期歯科保存学書の比較書誌学的研究」長谷川正康、森山徳長、田辺明、小幡哲夫、石川達也『日本歯科医史学会々誌』20(1)21-27
「医学士三輪徳寛が明治25～28年に調査した [齲歯ノ統計]

について(抄)」樋口輝雄『日本歯科医史学会々誌』20(2) 112-113
「明治初年に渡航した歯科医についての一考察(抄)」樋口輝雄『日本歯科医史学会々誌』20(2)100-101
「Studs型アタッチメントの元祖と考えられるCarrの“anchored, adjustable, and removable Dentureについて(抄)」平田幹男『日本歯科医史学会々誌』20(2)99-100
「アタッチメントの発展と変遷について」平田幹男『日本歯科医史学会々誌』20(1)5-20
「黄帝内経素問にみられるヒトの一生と歯牙との関連について」藤井佳朗『日本歯科医史学会々誌』20(1)1-4
「義顎の歴史と背景」古田勲『顎顔面補綴』17(2)76-81
「O-O式咬合器の歴史的考察(抄)」細川隆司、永松浩、内田康也、小林繁、向野明甫『日本歯科医史学会々誌』20(2)98
「歯科診療と放射線障害 その歴史的推移と現況(総説)」前多一雄『歯学』82(1)2-11
「レーザー開発の歴史」松本光吉『歯界展望』(別冊歯科用レーザーの臨床)8-10
「第11回ムシ歯予防デーに配布された小冊子について(抄)」向井康子、渋谷敏、石橋肇、鈴木邦夫、加来洋子、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』20(2)121
「S.Spooner著 Guide to Sound Teethの書誌学的研究(抄)」森山徳長『日本歯科医史学会々誌』20(2)110-111
「東京歯科医学専門学校『臨床歯科学叢書』の書誌学」森山

徳長、春日芳彦、小坂剛也、石川達也、長谷川正康『日本
歯科医史学会々誌』20(1)28-36

「『病草子』にあらわれた歯科疾患風俗に関する一考察」
(抄) 屋代正幸、藤野珥男、小林一日出、湯浅高行『日本
歯科医史学会々誌』20(2)129

「本学教授陣および出身者の旧制医学博士学位受領者の分析
的研究(抄)」山岸東太郎、森山徳長、長谷川正康、石川達
也『日本歯科医史学会々誌』20(2)101-102

「日本海軍歯科医科士官の歴史(VII)明治初期(抄)」山崎智『日
本歯科医史学会々誌』20(2)114-115

「昭和7年当時の歯科新聞の記事から(抄)」吉井秀鏑、渋谷
敏、石橋肇、山口秀紀、佐久間優、谷津三雄『日本歯科医
史学会々誌』20(2)115-116

22 史跡・記念碑

「ビュルツブルク、ミュンヘンの医史跡」泉彪之助『北陸医
史』15(1)79-83

「記事 山脇東洋墓碑・山脇社中解剖供養碑再建記念事業を
終えて」杉立義一『日本医史学雑誌』40(4)489-491

「復刻 浪華・刀圭名家墓参案内」鈴木元造『医譚』(66)
3919-3929

「パリの医学史跡瞥見」高橋昭『現代医学』42(1)191-195

「ベルリンの医学史跡瞥見」高橋昭『現代医学』42(2)371-380

「杉並和泉町・大円寺についてー戊辰薩藩戦死者墓と三土墓

碓銘碑ー」中西淳朗『保険医と臨床』(339)25-31

「アウクスブルクの共同住宅フッゲライ」古川明『けんさ』
24(3)21-24

「アスクレピオス神殿の遺跡(1)」古川明『けんさ』23(4)21-24

「アスクレピオス神殿の遺跡(2)~(3)」古川明『けんさ』
24(1-2)21-24, 25-28

23 疾病史

「医療今昔物語ー学説・診療の変遷70 筋萎縮性側索硬化症」
八瀬善郎『臨床科学』30(01)110-118

「医療今昔物語ー学説・診療の変遷71 蕁麻疹」吉田彦太郎、
張慧敏、鳥山史『臨床科学』30(02)230-236

「医療今昔物語ー学説・診療の変遷72 天疱瘡」坂本邦樹『臨
床科学』30(03)345-352

「医療今昔物語ー学説・診療の変遷73 萎黄病」石田純郎『臨
床科学』30(04)497-503

「医療今昔物語ー学説・診療の変遷74 アトピー性皮膚炎」
北郷修『臨床科学』30(05)629-636

「医療今昔物語ー学説・診療の変遷75 ベスト」貝塚恍『臨
床科学』30(06)766-774

「医療今昔物語ー学説・診療の変遷76 いぼ」田上八朗『臨
床科学』30(07)903-910

「医療今昔物語ー学説・診療の変遷77 肺炎」松本慶蔵『臨
床科学』30(08)1031-1039

「医療今昔物語—学説・診療の変遷78 熱傷」菅原光雄『臨床科学』30(10)1365-1370

「医療今昔物語—学説・診療の変遷79 減菌と消毒」古川明、大村敏郎『臨床科学』30(11)1471-1478

「医療今昔物語—学説・診療の変遷80 肺結核の外科療法」藤倉一郎『臨床科学』30(12)1610-1614

「サルコイドーシス起因体，起因物質，検索の動向 サルコイドーシス起因体追求の歴史と現状」江石義信『日本臨床』52(6)1486-1491

「激増しつつある糖尿病について考える(その1)人類と糖尿病 糖尿病の歴史と日本の現状」金沢康徳『けんさ』24(1)13-16

「ICDの歴史と現況」河合誠義『精神医学』36(5)459-462

「スギ花粉症の歴史」斎藤洋三『アレルギーの領域』1(2)148-152

「アレルギーの歴史① アレルギーの概念の誕生まで」酒井シヅ『アレルギーの領域』1(1)84-85

「アレルギーの歴史② Pirquetとアレルギーの概念の誕生」酒井シヅ『アレルギーの領域』1(2)208-210

「アレルギーの歴史③ アレルギーの概念の生物学的意義」酒井シヅ『アレルギーの領域』1(3)328-330

「アレルギーの歴史④ Pirquetの業績 その1—感染症の潜伏期間」酒井シヅ『アレルギーの領域』1(4)462-464

「アレルギーの歴史⑤ Pirquetの業績 その2—血清病の発

見」酒井シヅ『アレルギーの領域』1(5)598-601

「アレルギーの歴史⑥ Pirquetの業績 その3—アレルギーの概念の確立」酒井シヅ『アレルギーの領域』1(6)714-716

「アレルギーの歴史⑦ Pirquetの業績 その4—ツベルクリン反応」酒井シヅ『アレルギーの領域』1(7)848-851

「アレルギーの歴史⑧ Pirquetの生涯」酒井シヅ『アレルギーの領域』1(8)996-998

「アレルギーの歴史⑨ Pirquetの結婚」酒井シヅ『アレルギーの領域』1(9)1154-1156

「アレルギーの歴史⑩ ウィーン大学とPirquet」酒井シヅ『アレルギーの領域』1(10)1288-1290

「アレルギーの歴史⑪ ウィーンのPirquet」酒井シヅ『アレルギーの領域』1(11)1416-1418

「血液と医学の歴史」酒井シヅ『健康と環境』(10)59-62

「古医書に見る糖尿病の歴史」酒井シヅ『綜合臨牀』43(11)2574-2577

「疾病伝来史 文化の道は病気の道」酒井シヅ『日経メディカル』(6-25臨時増刊号)109-115

「喘息の歴史閑話8 江戸時代の医書にみる喘息の記事」酒井シヅ『喘息』7(1)158-159

「喘息の歴史閑話9 喘息の症例—江戸時代の医書から」酒井シヅ『喘息』7(2)119-121

「喘息の歴史閑話10 江戸時代の西洋医学書に現れた喘息観」酒井シヅ『喘息』7(3)109-112

- 「喘息の歴史閑話11 気管支喘息の歴史」酒井シヅ『喘息』7(4)120-121
- 「世界のエイズ歴史と現況」桜井賢樹『からだの科学』(増刊エイズ)7-10
- 「平安朝物語の中の医学」白崎昭一郎『北陸医史』15(1)33-36
- 「脳ドックの歴史と現況、その将来」端和夫『臨床成人病』24(10)1311-1314
- 「わが国における職業がん疫学の歴史と展望」土屋健三郎『癌の臨床』40(4)347-352
- 「疾病対策の構造 特定病因説の科学史(1)」長野敬『公衆衛生』58(9)650-652
- 「腎臓病の歴史」成田光陽『腎と透析』37(増刊)9-12
- 「ICD-10歴史、特徴とその応用をめぐって」Sartorius Norman『精神医学』36(5)452-457
- 「B型肝炎ウイルスの発癌機序はどこまで解明されたか 歴史的視点から」森尾恭爾、小池和彦『Chronic Disease』5(4)645-649
- 24 耳鼻咽喉科史**
- 「耳と鼻の文化史(二)」飯田収『科学医学資料研究』(238)1-4
- 「古典あれこれ ものいう耳-小結-」飯沼壽孝『Johns』10(12)1722-1724
- 「Hanselと鼻・副鼻腔アレルギー」貝塚侑『Johns』10(4)550-553

- 「急性高度難聴 研究の歴史と将来の展望」野村恭也『Johns』10(7)861-863
- 「スギ花粉症をめぐって スギ林の分布と歴史」横山敏孝『アレルギーの領域』1(2)159-163

25 種痘史

- 「天然痘撲滅の長い旅路(1)牛痘接種法の父エドワード・ジェンナー」深瀬泰旦『JMS』(8)76-77
- 「天然痘撲滅の長い旅路(2)牛痘接種法に先行した人痘接種法」深瀬泰旦『JMS』(9)70-71
- 「天然痘撲滅の長い旅路(3)緒方春朔の人痘接種法」深瀬泰旦『JMS』(10)70-71
- 「天然痘撲滅の長い旅路(4)馬場佐十郎の『遁花秘訣』」深瀬泰旦『JMS』(11)70-71

26 獣医学史

- 「黎明期の陸軍獣医(抄)」柏頼文『日本獣医史学雑誌』(31)58-59
- 「仮名安驥集と中国獣医書との関連(1)(抄)」木脇祐順『日本獣医史学雑誌』(31)66-67
- 「日本大学獣医学科のあゆみ(2)(抄)」桑原志都夫『日本獣医史学雑誌』(31)62-64
- 「新潟県における江戸時代の狂犬病流行史料の調査」劔持計夫『日本獣医史学雑誌』(31)46-49

- 「馬(牛)眼濁晴虫孝」 荘保忠三郎『日本獣医史学雑誌』(31) 19-45
- 「父のこと」 白井厚『日本獣医史学雑誌』(31)3-5
- 「[古語拾遺]の[蝗]」 中井薫『日本獣医史学雑誌』(31)70-71
- 「くくまざさ」馬医者」 中井薫『日本獣医史学雑誌』(31)68-69
- 「駿牛絵詞・国牛十図・白牛酪孝の解題」 中井薫『日本獣医史学雑誌』(31)50-57
- 「白井紅白先生を偲んで」 深谷謙二『日本獣医史学雑誌』(31) 1-2
- 「[解馬新書] 出版140年記念の年に当って(抄)」 松尾信一『日本獣医史学雑誌』(31)64-65
- 「仙台藩八条流について(抄)」 村井秀夫『日本獣医史学雑誌』(31)59-62
- 「稲田教授によるワイル氏病の病原体発見とその代表株 Inter No.1株について」 山本脩太郎『日本獣医史学雑誌』(31)6-18

28 書誌学

- 「資料 池田文書の研究(10)～(12)」 池田文書研究会『日本医史学雑誌』40(2-4)217-226, 315-322, 479-488
- 「『啓迪集』所引文献の検討(抄)」 王鉄策、小曾戸洋『日本医史学雑誌』40(1)40-41
- 「Scultetusの Armamentarium Chirurgicum(外科の兵器庫)の書誌学的研究(抄)」 蒲原宏『日本医史学雑誌』40(1)

28-29

- 「中原泉訳『人体構造論抄—ヴェサリウスのthe epitome—(記事)」 近藤均『日本医史学雑誌』40(4)504-505
- 「杵築市立図書館所蔵『贅語』 身生帙写本の特色—解剖学的視座からの考察」 近藤均『梅園学会報』(19)34-45
- 「三浦梅園『贅語』 身生帙改稿過程研究序説—各稿本類の起稿・推敲年次の推定—(抄)」 近藤均『日本医史学雑誌』40(1) 42-43
- 「補遺・長崎家所蔵の医書目録」 寺畑喜朔『醫譚』(66) 3915-3917
- 「『啓迪集』の瀉血療法(抄)」 友部和弘、真柳誠『日本医史学雑誌』40(1)78-79
- 「高岡長崎家収蔵の『寥山翁方集』をめぐって(抄)」 正橋剛二『日本医史学雑誌』40(1)96-97
- 「『山本氏読書室蔵書目録』と岩瀬文庫の山本読書室本」 松田清、遠藤正治(編)『実学史研究』(10)169-268
- 「『史紀』扁鵲倉公伝の幻雲注所引の『難経』について(抄)」 宮川浩也『日本医史学雑誌』40(1)88-89
- 「『空襲救護』について(抄)」 谷津三雄、渋谷敏『日本医史学雑誌』40(1)74-75

29 小児科史

- 「新生児マススクリーニングの歴史、理念、現状 先天代謝異常症」 青木菊麿『小児内科』26(12)1957-1960

「学校心臓検診の歴史と意義」 大國真彦『小児内科』26(3) 345-349

「新生児マススクリーニングの歴史、理念、現状 マスクリーニングの費用便益」 黒田泰弘『小児内科』26(12) 1979-1983

「新生児マススクリーニングの歴史、理念、現状 神経芽細胞腫」 沢田淳『小児内科』26(12)1973-1978

「新生児マススクリーニングの歴史、理念、現状 先天性副腎過形成」 諏訪城三『小児内科』26(12)1967-1972

「アタッチメント研究の歴史と文化差に関するメモランダム」 荘巖舜哉『乳幼児医学・心理学研究』3(1)1-16

「新生児マススクリーニングの歴史、理念、現状 先天性甲状腺機能低下症」 新美仁男『小児内科』26(12)1961-1966

「予防接種の歴史と今日的意義」 平山宗宏『小児内科』26(11) 1785-1789

「子どもと医史学 脱水症の研究(14)」 深瀬泰旦『教育医事新聞』(113)13

「子どもと医史学 輸液療法の歴史(1-3)」 深瀬泰旦『教育医事新聞』(114,115,117)15,19,15

30 神経学史

「序論 神経伝達物質研究の歴史と展望」 大塚正徳『神経精神薬理』16(1)5-10

「パーキンソン病：診断と治療の進歩 歴史的背景 パーキ

ンソン病患者の脳におけるドーパミンの減少の発見の歴史」 柿本泰男、佐野輝『日本内科学会雑誌』83(4)533-538

「Marshall Hallの[振戦麻痺]についての記載 古川論文(神経内科、40 491-492,1994)の補遺」 作田学『神経内科』41(5) 519-522

「近代脳神経外科 主義の発達と分化(1)~(2)」 佐野圭司『Clinical Neuroscience』12(11,12)1294-1295,1426-1428

「近代脳神経外科の黎明(1)~(8)」 佐野圭司『Clinical Neuroscience』12(3-10)346-347,458-459,570-572,690-691,818-820,938-939,1058-1059,1182-1183

「脳神経外科の歴史 脳機能の局在(1)~(2)」 佐野圭司『Clinical Neuroscience』12(1,2)106-107,218-222

「神経伝達物質の研究史余滴 人脳の神経細胞の数は？」 佐野豊『ミクروسコピア』11(02)113

「神経伝達物質の研究史(10) 視床下部ペプチドホルモンの発見(2)」 佐野豊『ミクロスコピア』11(03)160-165

「神経伝達物質の研究史余滴 [脳] の起こり」 佐野豊『ミクロスコピア』11(04)264-265

「失行論の歴史的変遷」 大東祥孝『神経研究の進歩』38(4) 526-532

「パーキンソン病：診断と治療の進歩 歴史的背景 パーキンソン病における黒質の細胞変性について」 田中順一、福田隆浩『日本内科学会雑誌』83(4)528-532

「Weber症候群」 古川哲雄『神経内科』40(6)589-591

「パーキンソン病：診断と治療の進歩 歴史的背景 James Parkinsonの記載と疫学」古和久幸『日本内科学会雑誌』83(4)524-527

31 診断学史

- 「診察術の歴史 ウイリアム・オスラー」Gude J.K.『JIM』4(6)554-555
- 「二段階PCR法を用いたHLA-DNAタイピングの歴史的資料への応用(会議録)」打穂利英子、外6名『日本法医学雑誌』48(補冊)162
- 「データベースから見た医用画像工学の歴史(抄)」梅垣洋一『Medical Imaging Technology』12(4)307-313
- 「直腸診を見直す 直腸診の歴史をめぐって」大村敏郎『JIM』4(3)217-219
- 「ベッドサイド心臓病学 聴診器の改良 歴史と現況」坂本二哉『総合臨床』43(4)684-687
- 「小児精神・心理学的検査の実際 小児科医と認知能力検査(いわゆる知能検査)検査法の歴史、種類、使用法の原則」原美智子、石渡昌子『小児内科』26(6)857-861
- 「画像診断のいま昔 歴史をたどる」松浦啓一『クリニシア』41(4-5)369-373

32 整形外科史

「整形外科を育てた人達 第122回 Florence Rena Sabin(1871-

- 1953)」天児民和『臨床整形外科』29(1)74-75
- 「整形外科を育てた人達 第123回 William Adams(1820-1900)」天児民和『臨床整形外科』29(2)208-209
- 「整形外科を育てた人達 第124回 Harold Jalland Stiles(1863-1946)」天児民和『臨床整形外科』29(3)276-277
- 「整形外科を育てた人達 第125回 Alexander Gibson(1883-1956)」天児民和『臨床整形外科』29(5)580-582
- 「整形外科を育てた人達 第126回 Robert Judet(1909-1980)」天児民和『臨床整形外科』29(6)724-725
- 「整形外科を育てた人達 第127回 Gabriel Nove-Josserand(1868-1949)」天児民和『臨床整形外科』29(7)830-831
- 「整形外科を育てた人達 第128回 Clearence Henry Heyman(1891-1964)」天児民和『臨床整形外科』29(8)912-913
- 「整形外科を育てた人達 第129回 Arthur Bruce Gill(1876-1965)」天児民和『臨床整形外科』29(9)1018-1019
- 「整形外科を育てた人達 第130回 Robert Guy Pulvertaft(1907-1986)」天児民和『臨床整形外科』29(10)1130-1131
- 「整形外科を育てた人達 第131回 Emanuel B.Kaplan(1894-1980)」天児民和『臨床整形外科』29(11)1244-1245
- 「整形外科を育てた人達 第132回 Louis Bauer(1814-1898)」天児民和『臨床整形外科』29(12)1364-1365
- 「整形外科におけるマイクロサージャリー歴史と展望」生田義和、土肥大右『整形外科』45(4)489-493

「画像でたどる日本の西洋医学アンブローズ・パレの修復法」
大村敏郎『整形外科』45(2)231-236

「脊椎インストルメンテーションの歴史とそのバイオメカニ
クスの考察」高橋和久、山県正庸『脊椎脊髄ジャーナル』
7(2)223-228

「人工股関節：その歴史と材質の変遷」徳永大作『京都第二
赤十字病院医学雑誌』(15)71-75

「肩の外科の歴史 日本と世界」信原克哉『整形・災害外科』
37(08)859-861

「私の骨折治療の歴史」平川寛『北海道整形外科外傷研究会
会誌』(10)153-162

「五十肩の歴史」三笠元彦『整形・災害外科』37(13)1527-1532

「五十肩の歴史(英文)」三笠元彦『日本整形外科学会雑誌』
68(2)1-2

33 精神医学史

「『手軽に治せる家庭療法全集』より 主婦の友 第15巻第1
号(昭和6年1月1日)」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通
信』(30)26-36

「私立京都癲狂院入院諸費計算書」『呉秀三先生記念精神科医
療史資料通信』(30)10

「精神病患者実験記事(その4)～(その6)」『呉秀三先生記念精
神科医療史資料通信』(30-32)24-25, 11-14, 13-22

「精神病患者監置願」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』

(31)15-21

「生生堂治験(その1)～(その3)」『呉秀三先生記念精神科医療
史資料通信』(30-32)1-5, 1-3, 1-6

「高嶺三吉筆記『榊教授精神病学』(完結)」『呉秀三先生記念
精神科医療史資料通信』(30)11-23

「癲癇狂辨(その4)」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』
(30-32)6-9, 4-10, 7-12

「分裂病の薬物療法：アメリカの現況(英文)」Shen Winston
W. 『(The) Keio Journal (of) Medicine』43(4)192-200

「松原三郎特集(完結)早発生癡呆の本態に就きて」『呉秀三先
生記念精神科医療史資料通信』(32)23

「松原三郎特集(完結)講義要録より」『呉秀三先生記念精神科
医療史資料通信』(32)24-26

「松原三郎特集(完結)精神病の分類」『呉秀三先生記念精神科
医療史資料通信』(32)27

「松原三郎特集(完結)偏執病問題」『呉秀三先生記念精神科医
療史資料通信』(32)28-29

「松原三郎特集(完結)治癒すべき早発癡病型ニ就テ」『呉秀三
先生記念精神科医療史資料通信』(32)30-35

「松原三郎特集(その1)精神病ノ分類ニ関する私見」『呉秀三
先生記念精神科医療史資料通信』(31)22-30

「松原三郎特集(その1)学位記(論文審査ノ要旨)」『呉秀三先
生記念精神科医療史資料通信』(31)31

「松原三郎特集(その1)鬱憂病ノ本態」『呉秀三先生記念精神

科医療史資料通信』(31)32-34

『『癲癇狂経験編』の著者土田獻による下気円引き札(例)』岡田靖雄『日本医史学雑誌』40(2)231-232

『戦前合州国に留学した精神病学者たち(上)～(下)』—松原三郎、斎藤玉男、石田昇ほか—岡田靖雄『日本医史学雑誌』40(3,4)255-279,413-434

『日本における早発癡呆—精神分裂病概念の受容—(抄)』岡田靖雄『日本医史学雑誌』40(1)24-25

『E E 研究の歴史と今後の課題(抄)』三野善央『家族療法研究』11(1)27

『ペスト残影(その2)ボンとその周辺の巻(抄)』滝上正『神奈川医学会雑誌』21(1)173

『メンタルヘルスの広場 心の病の人々の居住プログラム保護・救済の歴史をふりかえって』見浦康文『心と社会』25(3)78-84

35 西洋医学史

『ギリシャ医療文化史の旅』石田純郎『医譚』(67)3987-3994

『クワック(Quack)—18世紀オランダの巡回医療職について—(抄)』石田純郎『日本医史学雑誌』40(1)52-53

『フランス医療文化史の旅』石田純郎『医譚』(66)3930-3938

『中世ヨーロッパの衛生思想Six Non-Naturals(抄)』平尾真知子『日本医史学雑誌』40(1)50-51

『ノヴァラ号遠征に対する奥国医学界の要望と指示(I)

～(II)』安田純一『医譚』(66-67)3901-3909,3949-3953

37 生理学史

『パッチクランプ法の歴史』大地陸男『BIO Clinica』9(1)66-69

『パッチクランプ法の歴史(2)』大地陸男『BIO Clinica』9(8)603-603

38 地方史

『維新期の富山藩洋方医について—とくに戊辰戦争従軍藩医を中心として—』赤祖父一知『医譚』(66)3885-3893

『明治16年富山県在住内務省免許医師について』赤祖父一知『北陸医史』15(1)18-26

『北陸三県内務省免許医師名簿続編』赤祖父一知『北陸医史』15(1)84-90

『幕末における千葉県の医療制度に関する考察(2)佐倉藩の医療制度改革(1)』石出猛史『千葉医学雑誌』70(5)275-280

『遠江雪中庵社中の風交』岩崎鐵志『静岡県史研究』(10)29-48

『芸備 瀬戸内海沿岸 島部の医史概観(抄)』江川義雄『日本医史学雑誌』40(1)70-71

『明治時代に呉にきた海軍軍医と呉の医史』江川義雄『広島医学』47(5)846-852

『シンポジウム 中津藩の蘭学について』川島真人『化学史研究』21(1)95-96

- 「長崎国際墓地に眠る人々の死因(抄)」佐分利保雄『神奈川医学会雑誌』21(2)345
- 「療病院・京都府医学校・京都府医事に関する若干の史料」杉立義一『医譚』(66)3895-3899
- 「秋田県における消化器集団検診の歴史」正宗研『消化器集団検診』32(5)62-64
- 「美濃の近世の動きー科学の源流と背景ー」丸山幸太郎『悠斎研究会だより』(67)2-5
- 「西の長崎、東の佐倉」三浦義彰『千葉医学雑誌』70(4)211-216
- 「群馬県下に残る道了様信仰と福岡県下に残る道了神社信仰の接点と考察」(抄)湯浅高行、藤野坦男、小林一日出、屋代正幸『日本歯科医史学会々誌』20(2)128-129
- ### 39 治療史
- 「透析療法の歴史」阿岸鉄三『Clinical Engineering』(別冊透析入門)9-16
- 「カテーテルアブレーションによる上室性頻拍の治療 歴史、現状および問題点」家坂義人『Therapeutic Research』15(4)1281-1285
- 「吹角(すいふくべ)二種供覧」岩治勇一『北陸医史』15(1)78
- 「ステロイド代謝とP450:歴史と展望(会議録)」大村恒雄『生化学』66(7)597
- 「治療の歴史DIC」小川道雄『治療学』28(02)223-227
- 「薬害の歴史に学ぶ 薬害防止における看護婦の役割」片平洸彦『Nurse eye』7(12)70-75
- 「薬害の歴史に学ぶ スモン=キノホルム薬害事件(2)~(3)」片平洸彦『Nurse eye』7(1-2)71-76,43-47
- 「薬害の歴史に学ぶ スモン=キノホルム薬害事件」片平洸彦『Nurse eye』7(4)71-76
- 「薬害の歴史に学ぶ クロロキン薬害事件」片平洸彦『Nurse eye』7(5)39-44
- 「薬害の歴史に学ぶ 筋拘縮症事件(1)~(2)」片平洸彦『Nurse eye』7(6-7)44-52,71-75
- 「薬害の歴史に学ぶ 輸入濃縮製剤による「薬害エイズ」事件(1)~(2)」片平洸彦『Nurse eye』7(8-9)71-76,70-73
- 「薬害の歴史に学ぶ ソリブジン薬害事件(1)」片平洸彦『Nurse eye』7(10)66-70
- 「電気療法の歴史 “しびれえい” からFESまで(会議録)」川村次郎『日本整形外科学会雑誌』68(2)241
- 「インターフェロンの歴史」岸田綱太郎『BIO Clinica』9(2)147-150
- 「治療の歴史 非血縁者間骨髄移植療法骨髄バンクの歴史」小寺良尚『治療学』28(10)1183-1188
- 「Endogenous digitalis-like factor (EDLF)精製の歴史と現状」後藤淳郎、山田薫、名越洋『Therapeutic Research』15(1)213-222
- 「関節鏡による診断と治療の進歩 関節鏡の進歩の歴史」榊原壤『リウマチ科』11(5)263-270

「治療の歴史 胃酸分泌抑制薬」阪口正博、芦田潔、大柴三郎『治療学』28(4)463-467

「メタリックステントの進歩と臨床応用 メタリックステントの歴史と国内外の状況」沢田敏、森岡伸夫『INNER-VISION』9(1)32-35

「セロトニン受容体ファミリー最近の知見 歴史的背景と受容体サブタイプ」渋谷健、北谷照雄、渡辺泰雄『東京医科大学雑誌』52(6)665-675

「敗血症および敗血症性ショックの動物実験モデル その歴史的意義と将来への展望(総説)島崎修次、三島史朗『日本救急医学会雑誌』5(1)1-14

「治療の歴史 睡眠薬の開発ベンゾジアゼピン系睡眠薬登場以降」菅野道『治療学』28(9)1045-1050

「復刻奈良北山十八間戸、創立に関しての一考察附、一遍上人の癲救濟事跡」鈴木元造『醫譚』(67)3955-3986

「人工血液 現状と未来 人工血液の歴史と現状」関口定美、仲井邦彦『日常診療と血液』4(12)1581-1586

「酒湯の積極使用」宗田一『医譚』(67)3939-3941

「化学療法剤のすべて 抗生物質・抗菌薬の歴史、現況と展望」副島林造『臨床成人病』24(11)1531-1535

「治療の歴史 気胸の治療」武野良仁『治療学』28(7)813-816

「治療の歴史 動脈硬化治療薬 病理学からみて」田中建蔵『治療学』28(6)705-708

「化学療法剤のすべて 抗腫瘍剤の歴史・現状と展望」鶴尾

隆『臨床成人病』24(11)1849-1853

「治療の歴史 α 遮断薬」仲沢幹雄、今井昭一『治療学』28(03)339-343

「小児作業療法の実際 歴史的変遷と現状」奈良進弘、佐藤剛『作業療法ジャーナル』28(5)328-333

「新しい交流分析の手ほどき 交流分析の歴史」新里里春『心身医療』6(4)421-428

「ふたたび輸液療法のあゆみ」深瀬泰旦『川崎市小児科医会』(26)8-25

「瀉血の歴史(抄)」藤倉一郎、藤倉知子『日本医史学雑誌』40(1)76-77

「治療ガイドラインをめぐって ガイドラインの歴史的背景」牧野荘平『喘息』7(2)25-28

「セロトニン機能関連薬剤5-H<T ∇ 1A>受容体作用薬剤治療薬としてのリチウム開発の歴史とリチウム療法を中心として」松下昌雄『医薬ジャーナル』30(8)2036-2041

「薬膳の歴史に沿って」若林孝雄、申曼珍『東洋医学』22(10)62-66

「こころの病気と薬 こころにはたらく薬の歴史」渡辺昌祐『こころの科学』(57)16-21

40 伝 記

「維新期の独逸留学生の光と影—ドイツ大学最初の日本人学籍登録者赤星研造について—」森川潤『日本医史学雑誌』

- 40(4)447-465
- 「浅野総一郎とコレラ(例)」荒井保男『日本医史学雑誌』40(4)496
- 「アレキサンドル伝補遺(抄)」下総高次『日本歯科医史学会々誌』20(2)125-126
- 「アンリ・モンドールについて—フランスの外科医そして文学者(抄)」今泉孝『日本医史学雑誌』40(1)54-55
- 「資料紹介—惣斎の『植物用語対訳』稿V」遠藤正治『惣斎研究会だより』(67)6-8
- 「〔西洋歯科医の草分け・一井正典の足跡を訪ねて〕(抄)」松本晋一、渋谷敦『日本歯科医史学会々誌』20(2)122
- 「日本の脳研究者たち(18)井村恒郎 1906-1981年」野上芳美『Brain Medical』6(4)429-432
- 「先賢群像(その9)~(その10)新・ウイントローフ 伝(1901-1986)近代医学を布石した人(4)~(5)」大谷彰『旭中央病院医報』16(1-2)199-214, 435-449
- 「生野銀山とフランス人医師エノン」石田純郎『医譚』(67)3943-3947
- 「日本の脳研究者たち 大橋博司1923-1986年」浜中淑彦『Brain Medical』6(3)306-314
- 「産婦人科医緒方正清(1864-1919)(抄)」長門谷洋治『日本医史学雑誌』40(1)94-95「海軍大医監 奥山虎炳(抄)」深瀬泰旦『日本医史学雑誌』40(1)68-69
- 「また海軍大医監奥山虎炳」深瀬泰旦『慈恵医大小児科教室同窓会誌』45-71
- 「金沢医科大学解剖学教授金子治郎博士の年譜」中村俊雄『北陸医史』15(1)45-58
- 「雷親爺の人となり」北里一郎『文』(春号)9-11
- 「北里柴三郎 日本最初の世界級の学者」酒井シヅ『文』(春号)6-8
- 「北里柴三郎 深い師弟愛に満ちた大先生」長木大三『文』(春号)3-5
- 「人と時代 遺伝学の青春時代 その一 木原均とその時代」岡部昭彦『ミクロスコピア』11(4)234-238
- 「ゲーテの精神障害観(第1報)若きウルテルの悩み」高橋正雄『心と社会』25(4)88-93
- 「Friedrich Goll」万年甫『Clinical Neuroscience』12(06)702-703
- 「佐伯理一郎と京都(六)—その生活と信条」長門谷洋治『啓迪』(12)9-14
- 「J.B.シッドールの衛生指導(例)」中西淳朗『日本医史学雑誌』40(2)229-231
- 「J.B.シッドールの衛生指導」中西淳朗『保険医の臨床』(342)14-19
- 「弘前藩医渋江抽斎の業績 伝統医学の継承者(会議録)」松木明知『全日本鍼灸学会雑誌』44(1)1-2
- 「瑞穂屋清水卯三郎の業績(その1)—人物像と歯科以外の業績—(抄)」太田実、森山徳長、田辺明、大山萬夫、石川達

也、長谷川正康『日本歯科医史学会々誌』20(2)122-123
「日本の脳研究者たち(16)清水健太郎 1903-1987年」浜中淑彦『Brain Medical』6(2)197-199
「米医D.B.シモンズについて」荒井保男『日本医史学雑誌』40(1)10-11
「Jean-Martin Charcot(1825~1893)略伝」江口重幸『臨床精神医学』23(2)149-157
「シャルコーの『サルペトリエール病院火曜講義録』(その2)」岩田誠『科学医学資料研究』(245)9-12
「人と時代 鯨塚研究の先覚者医師進藤直作先生のことども」本間義治『ミクروسコピア』11(4)240-243
「杉山和一 その文献と伝説」香取俊光、早川要、長尾栄一『理療の科学』18(1)
「ダーウィン研究の現在—研究紹介」上山隆大『科学医学資料研究』(245)1-8
「鍼灸老舗の人々43-47 辰井文隆(14-18)」上池栄『医道の日本』53(2-6)171-174, 163-167, 181-185, 180-183, 164-167
「筒井八百珠と『臨床医典』(抄)」小田皓二『日本医史学雑誌』40(1)16-17
「問田亮次教授の思い出集より(抄)」山口秀記、渋谷敏、石橋肇、落合俊輔、吉井秀鑄、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』20(2)124
「特集：ナイチンゲールからのメッセージ [ナイチンゲールから看護は始まった]」平尾真知子『看護学生』42(9)42-44

「中江兆民に癌を告げた医師— [耳鼻咽喉専門医堀内某] のこと」井田進也『図書』(6月号)
「長崎家六代言定に関する資料」寺畑喜朔『医譚』(66)3911-3914
「長崎浩斎『医者物語』と吉田長淑(抄)」津田進三『日本医史学雑誌』40(1)98-99
「東京府病院長としての長谷川泰(抄)」唐沢信安『日本医史学雑誌』40(1)14-15
「華岡青洲とその業績(その1)~(その2)」泉雄勝『乳癌の臨床』9(3,4)433-440, 593-602
「我が耽溺の記(その二)パレ全集について」野口政宏『ミクロスコピア』11(2)120-124
「J.Hunterの実験と死因(抄)」中原泉『日本歯科医史学会々誌』20(2)103
「先達医家の肖像 <57> Arnold Pick(1851-1924)」酒井シヅ『Medical Digest』(333)巻末
「ヒポクラテス(Hippocrates)」酒井シヅ『Clinical Neuroscience』12(09)1072
「ヒポクラテス顔貌」飯田収『Johns』10(7)970-973
「飛見丈繁先生没後二十五年を偲んで」寺畑喜朔『北陸医史』15(1)68-77
「フランス王立外科学院の院長として活躍したJean Louis Petit」犬山征夫『Johns』10(1)98-101
「ジクムント・フロイト 上顎癌との壮絶な闘い」犬山征夫

- 『Johns』10(6)828-832
- 「Vesalius原版の行方」中原泉『日本歯科医史学会々誌』20(2)145-149
- 「ヘボン」高安伸子『日本の『創造力』』(15)42-44
- 「Charles BellのMichelangelo論」古川哲雄『神経内科』40(4)404-408
- 「『ベルツの日記』に挿入の山の写真(上)～(下)」小関恒雄、國府田坦『日本医事新報』(3675,3676)63-65,68-70
- 「先人たちは性医学をどう学んできたか 明治2年大阪医学学校でのボードウィンの講義録「日講記聞」を中心にした考察(第1報)」斎藤三朗『汐田総合病院医報』9(1)63-70
- 「Julius Hallervorden」横井晋『Clinical Neuroscience』12(11)1306-1307
- 「ミクロの世界の開拓者マルチェロ・マルピギー-Marcello Malpighi(1628-1694)」Pietro M. Motta『ミクروسコピア』11(4)244-248
- 「三浦梅園の生理学体系—とくに臓腑・経脈・筋骨の機能について」近藤均『日本医史学雑誌』40(2)228-229
- 「三浦梅園の長崎旅行について(抄)」上瀉口武、嶋村昭辰、内田康也、梶山稔、小林繁『日本歯科医史学会々誌』20(2)133-134
- 「鍼灸老舗の人々48-52 その六 山本新梧(1-5)」上池栄『医道の日本』53(7, 9, 10, 11, 12)187-191, 158-162, 171-174, 171-175, 169-172

- 「山脇東門及び荻野元凱とオランダ医学」マセ・美枝子『日本医史学雑誌』40(2)133-153
- 「アルプレヒト・フォン・ローレツの研究(1)(抄)」小形利彦、エリッヒ・ラブル『日本医史学雑誌』40(1)64-65
- 「Moritz Heinrich Rombergの生涯 所縁の地MeiningenとBerlinを訪ねて」高橋昭、伊藤泰広、Schmidt Alexandr C.『神経内科』41(2)101-109
- 「野口英世の師 渡辺鼎 そのI—父・思斎—(抄)」石原理年『日本医史学雑誌』40(1)92-93

41 伝 記(双)

- 「宇田川玄真の兄弟について(中)」幸田正孝『津山洋学資料館友の会だより』(24)2-4
- 「上山藩医奥山玄育と荻野元凱(例会)」深瀬泰旦『日本医史学雑誌』40(3)327-328
- 「東大医学部生化学教室創設者隈川宗雄とその一族(抄)」中山沃『日本医史学雑誌』40(1)46-47
- 「シャルコーとフロイト」新宮一成『臨床精神医学』23(2)175-180
- 「檜林家と小倉(抄)」上瀉口武、藤英俊、児玉淳、嶋村昭辰、福田仁一、向野明甫『日本歯科医史学会々誌』20(2)132-133
- 「西周と備前の洋学徒・医師との交遊」中山沃『洋学資料による日本文化史の研究』(7)35-52
- 「日本の医師の中のキャリアの研究(その1)日本学士院会

員」中野進、指宿照久、山脇敬子『京都医学会雑誌』41(1)
「人と時代 田原淳よりルドヴィッヒ・アショッフへの手紙」
島田宗洋『ミクロスコピア』11(2)78-88
「和氣(半井)氏の肖像」杉立義一『北陸医史』15(1)37-44

42 伝染病史・防疫史

「梅毒の起源をめぐる論争—アメリカ対ヨーロッパ」K. H.
レーフェン、松下正明(訳)『科学医学資料研究』(244)1-15
「院内感染対策の歴史的変遷と疫学」岡田賢司、植田浩司『小
児内科』26(10)1627-1630
「疫病伝来史 文化の道は病気の道」酒井シヅ『日経メディ
カル』(増刊号)109-115
「十七世紀後半の医学書に見るらい病観(抄)」横田則子『日
本医史学雑誌』40(1)20-21

43 東洋医学史

「漢方史探訪44 [本草色葉抄] [医談抄]」赤堀昭『協力会だ
より』(初夏号)
「漢方史探訪 頓医抄」赤堀昭『協力会だより』(夏号)
「馬王堆『南方禹臧』図考」猪飼祥夫『竜谷史壇』(103,104)
47-69
「インド生命学(アーユルヴェエダ)から終末期医療を考える
—初期仏教との関連を踏まえて—」伊藤道哉『東方』(10)
81-89

「古代日本に於ける呪術医療への考察(抄)」稲垣直『日本医
史学雑誌』40(1)86-87
「近現代における中朝古医籍書誌目録の検討(1)~(2)」王鉄
策『漢方の臨床』41(8-9)1080-1091,1211-1222
「満州医科大学東亜医学研究所の業績と貢献(2)」王鉄策『漢
方の臨床』41(1)165-170
「日中韓古医籍の所蔵目録」王鉄策、小曾戸洋、真柳誠『日
本医史学雑誌』40(4)467-478
「古代アジア医学の伝統—ICTAM会頭講演—」大塚恭男『東
方』(10)42-53
「『傷寒論』異聞陽明病胃中寒の説(1)」岡田研吉『漢方の臨
床』41(4)523-533
「Chemistry of Traditional Recipes Used in Hepatic Dis-
orders」KUMAR, Kaushal/ UPADHYAY, Vinod『東方』
(10)136-144
「民族医学シリーズ(1)韓医学(韓国伝統医学)その世界と歴
史」金成俊『東洋医学』22(6)20-35
「漢方史景62 カゼ症候群(29)蔵方宏昌『漢方診療』13(1)32
「漢方古典文献概説 明代の医葉書(その10)一(12)」小曾戸
洋『現代東洋医学』15(2-4)245-252,425-431,555-560
「目でみる漢方史料館(68)名医の神農畫賛と山水畫」小曾戸
洋『漢方の臨床』41(1)2-4
「目でみる漢方史料館(69)谷文晁の描いた多紀元堅像」小曾
戸洋『漢方の臨床』41(2)206-208

「目でみる漢方史料館(73)浅田宗伯揮毫の赤沼淳卿詩碑」小曾戸洋『漢方の臨床』41(6)702-704
「目でみる漢方史料館(74)重ねられた神農像と玄朔像」小曾戸洋『漢方の臨床』41(7)822-824
「目でみる漢方史料館(75)『啓迪集』の一古鈔本」小曾戸洋『漢方の臨床』41(8)946-948
「目でみる漢方史料館(76)元版『銅人 穴針灸図経』」小曾戸洋『漢方の臨床』41(9)1146-1148
「目でみる漢方史料館(77) 廷賢の肖像」小曾戸洋『漢方の臨床』41(10)1282-1284
「目でみる漢方史料館(78)荻生徂徠『素問評』の原本」小曾戸洋『漢方の臨床』41(11)1402-1404
「沙参考」小高修司『漢方の臨床』41(01)159-164
「チベット医学の医師論」佐藤道郎『東方』(10)90-99
「チベットにおける脈診の成立」佐藤道郎『東方』(10)100-107
「仏教と疫病」杉田暉道『東方』(10)54-56
「Loving Kindness: The Essential Buddhist Contribution to Primary Health Care」AUNG,Steven K.H.『東方』(10)108-112
「鍼灸・治効理論の変遷(抄)」高島文一『日本医史学雑誌』40(1)18-19
「王清任著[医林改錯]に学ぶこと」滝本真『中医臨床』15(3)276-282
「傷寒論雑感(14)『難解条』(2)」玉置英成『漢方の臨床』41(2)

288-292

「傷寒論雑感(15)『難解条』(3-1)」玉置英成『漢方の臨床』41(4)534-538
「高齢者保健福祉10ヵ年戦略(ゴールドプラン)と鍼灸 我が国の高齢者福祉の背景・歴史と方向」中島健一『東洋療法学校協会学会誌』(17)89-100
「第4回国際アジア伝統医学大会(ICTAMIV)と東方研究会」中田直道『東方』(10)39-41
「『摩訶止観』に見られるインド医学の諸用語—dhatu(身体の要素)をめぐる—」中田直道、杉田暉道『東方』(10)75-80
「インド医学の思想的背景」中村元『東方』(10)5-37
「近代日本鍼術の拠り所」濱田淳、長尾榮一『日本医史学雑誌』40(3)305-313
「『万安方』にみられる麻疹の記載(抄)」広田暉子『日本医史学雑誌』40(1)38-39
「Changing Pattern of Ayurvedic Education and Practice in India from Pre-Christian Era to Post-British Raj Days」RANGANAYAKULU,Potturu V.『東方』(10)145-149
「古代医学にみる心身の健康法(抄)」槇佐知子『教育医学』40(1)14-15
「Measurement of Health: An Insight from Ayurveda」PAL, Madhabendra N.『東方』(10)156-155
「韓国伝統医学文献と日中韓の相互伝播」真柳誠『温知会々

報』(34)208-215
「鳩鳥－実在から伝説へ」真柳誠『『物のイメージ・本草と博物学への招待』』150-185
「目でみる漢方史料館(71)人面鳥身の針医－二世紀の画像石から－」真柳誠『漢方の臨床』41(4)462-464
「目でみる漢方史料館(72)漢蘭折衷の解剖書－『解体発蒙』真柳誠『漢方の臨床』41(5)590-592
「目でみる漢方史料館(79)敦煌本『本草集注』真柳誠『漢方の臨床』41(12)1522-1524
「やみの医術－鳩鳥－実在から伝説へ(例)」真柳誠『日本医史学雑誌』40(4)493-495
「穴位主治の伝承における医心方の意義」光藤英彦『日本東洋医学雑誌』44(3)363-375「東洋医学古典概念の科学化に関する研究」森和『東方医学』10(2)1-27
「尾張藩医宗浅井家の業績と国幹の「告墓文」について」矢数道明『日本東洋医学雑誌』44(3)263-273
「日本漢方現代史余話(16)張仲景版画についての訂正」矢数道明『漢方の臨床』41(1)173
「日本漢方現代史余話(19)湯島聖堂[恩賜神農像]写真の変化について(2)－枯草から稲の穂に変わる－」矢数道明『漢方の臨床』41(04)556-557
「日本漢方現代史余話(20)湯島聖堂[恩賜神農像]写真の変化について(3)－稲の穂から甘草に変わる－」矢数道明『漢方の臨床』41(05)666-667

「漢方医学の歴史的変遷 香月牛山」安井広迪『Kampo』12(5)166-174
「漢方医学の歴史的変遷 多紀元簡」安井広迪『Kampo』12(2)50-61
「[まんが中国医学の歴史]について(会議録)」山本徳子『神奈川医学会雑誌』21(1)173-174
「中国名医の足跡(16)「六元五運」を著した名医 せき允」吉田荘人『東洋医学』22(7)94-95
「中国名医の足跡(17) 北宋の薬王 ほう安時」吉田荘人『東洋医学』22(8)114-115
「中国名医の足跡(19) 丹薬を否定した先賢 寇宗せき」吉田荘人『東洋医学』22(10)107-108
「中国医学と道教(VIII・日本古代史から)(抄)」吉元昭治『日本医史学雑誌』40(1)84-85
「[伝統インド医学]の性格と発展について」DAS,Rahul P.『東方』(10)57-74
「The Socio-Cultural Basis of Ayurveda in Kerala, India」ABRAHAM,Leena『東方』(10)113-135

44 内科史

「即時型過敏症：短い私的な歴史(総説)(英文)」Ovary Zoltan『アレルギー』43(12)1375-1385
「R.ブライト医師の“Reports of Medical Cases”(1827)(Vol.1)の内容について(抄)」会田恵『日本医史学雑誌』

- 40(1)62-63
 「レニン・アンジオテンシン系研究の歴史」荒川規矩男『臨床科学』30(7)785-790
 「PTH/PTHrP研究の歴史」五十嵐徹也『Clinical Calcium』37(13)86-87
 「リウマチ性疾患としてのアミロイドーシス アミロイド蛋白とは 歴史と現状」鬼頭昭三、三好理絵『リウマチ科』11(2)73-81
 「一過性全健忘の歴史的概念」桜井靖久『神経内科』41(6)533-536
 「Helicobacter pyloriの発見の歴史と診断法」下山孝、田村和民、福田能啓他2名『消化性潰瘍 臨床と基礎』13(2)108
 「目で見える人工腎臓物語(1)人工腎臓(血液透析)(1)人工腎臓の夜明け(図説)」白井洸『Medical Postgraduates』32(5)384-389
 「目で見える人工腎臓物語(2)(1)人工腎臓(血液透析)(2)コルフ(オランダ時代)人工腎臓の臨床成功(図説)」白井洸『Medical Postgraduates』32(6)455-458
 「狭心症の臨床 狭心症特論Syndrome X Syndrome X とmicrovascular angina研究の歴史、概念、定義、病因論」鈴木恵子、戸山靖一『日本臨床』52(増刊冠動脈の臨床下)396-399
 「心エコー図温故知新」高元俊彦『病体生理』28(2)42-49
 「肺気腫 分子レベルから実践成績まで 病因をめぐる歴史

- 的展開」貫和敏博『THE LUNG-perspectives』2(1)69-74
 「内分泌の概念のおこり(抄)」藤田尚男『日本医史学雑誌』40(1)22-23
 「胃粘液研究の歴史」堀田恭子、石原和彦『消化性潰瘍 臨床と基礎』13(1)21-29
 「30歳未満発症インスリン非依存型糖尿病(NIDDM)症例の糖尿病遺伝歴史(IH)について(会議録)」村田雅彦、外3名『日本内科学会雑誌』83(臨増)151
 「感染症撲滅の歴史と将来展望」横田健『総合臨床』43(7)1263-1264
 「バセドウ病の成因・病因論 歴史的考察と最近の研究動向」横山直方、長滝重信『日本臨床』52(4)1110-1117

45 皮膚科史

- 「表皮内メラノームも含む病理組織学的診断基準の歴史的展望(英文)」Ackerman Albert B.『(The) Journal(of) Dermatology』21(11)872-874
 「メラノームの病理組織学的診断基準の歴史的展望(会議録)(英文)」Ackerman Albert B.『日本皮膚科学会雑誌』104(3)335
 「16, 17世紀簡略皮膚科学史年表」小野公義『皮膚科の臨床』36(06)753-756
 「18世紀簡略皮膚科学史年表」小野公義『皮膚科の臨床』36(02)261-263

「4-15世紀簡略皮膚科学史年表」小野公義『皮膚科の臨床』
36(10)1385-1387

「JSCD(Japanese Society of Contact Dermatitis)の歴史的資料：グループスタディ(英文)」Sugai Tetsuro『Environmental Dermatology』1(1)94-95

47 病院史

「鷗外の『独逸日記』にあるモアビット病院とその歴史」泉彪之助『日本医史学雑誌』40(4)399-412

「モアビットなる市病院(抄)」泉彪之助『日本医史学雑誌』40(1)48-49

「山下御門内仮病院」黒澤嘉幸『日本医史学雑誌』40(3)281-292

「築城全書における[病院]の記述」中西秀樹『医譚』(67)3997-4001

「[食]のケアを改善する 病院給食の歴史的変遷と今後の展望」中村丁次『看護』46(12)81-87

48 病跡史

「『明月記』に表れる藤原定家の歯痛に関する考察(抄)」戸出一郎『日本医史学雑誌』40(1)56-57

「原病学通論 亜爾茂聯斯の講義録(第1編)～録(第2編)」松蔭宏『三重県立看護短期大学紀要』(15)73-96,96-125

50 風俗史

「民間医療信仰の小さな旅(抄)」立川昭二『神奈川医学会雑誌』21(1)174-175

「禁煙のサイエンス 喫煙習慣の歴史」水沼寛『THE LUNG-perspectives』2(4)343-347

「近世都市社会と障害者-見世物をめぐって-」横田則子(著)、塚田孝、吉田伸之、脇田修(編)『『身分的周縁』部落問題研究所』529-562

51 仏教医学史

「[飲]の病の起源-仏教医学の[癩]の病とのかかわり-」遠藤次郎、中村輝子、八巻英彦、宮本浩和『日本医史学雑誌』40(4)435-446

「ケガレと臓器移植(抄)」杉田暉道『神奈川医学会雑誌』21(1)173

「ケガレと臓器移植(例)」杉田暉道『日本医史学雑誌』40(3)330-331

「金光明最勝王経にみる医学(例)」杉田暉道『日本医史学雑誌』40(4)492-493

「仏教と医療とのかかわり 古代インドから現代日本までの移り変わり」杉田暉道『東洋医学』22(10)47-51

「仏教と医療とのかかわり-古代インドから現代日本までの移り変わり-(抄)」杉田暉道『日本医史学雑誌』40(1)1-4

「十住毘婆羅沙論における億倍精進-ruksapradhana(及び

luhaphahana)」中田直道『鶴見大学紀要』(31 第4部)
205-211

52 法医学史

- 「明治6年函館英商ブラキストン召使縊死一件」小関恒雄
『Act.Crim』60(2)47-52
- 「明治初年北海道におけるトリカブト中毒死例」小関恒雄
『Act.Crim』60(1)1-6
- 「ローレツの毒殺被疑解剖例をランガルト再鑑定す」小関恒雄
『Act.Crim』60(5)177-185

53 放射線医学史

- 「Brachytherapyの新しい展開 密封小線源治療の歴史と
〈△192〉I r 線源の特徴」井上俊彦、山下孝『臨床放射線』
39(10)1109-1110
- 「北米放射線学会の歴史(年代記-7)」乙供通則、竹川鉦一、
菅原耕、外9名『青森労災病院医誌』4(1)55-63
- 「ラジオアイソトープの治療への応用RI内用療法 of 歴史と
概要」木下文雄『Radioisotopes』43(8)491-502
- 「ラジオアイソトープの治療への応用RI遠隔照射と小線源
治療の歴史と概要」山下孝、尾内能夫『Radioisotopes』43(9)
565-574

54 本草学史・博物学史

- 「『草木図説』を新訂した田中芳男の同社の士 I」遠藤正治『慾

齋研究会だより』(66)2-5

- 「『ミュンチング』の慾齋模写図の発見」遠藤正治『慾齋研究
会だより』(65)2-7
- 「慾齋の『植物用語対訳』稿IV一稿V」遠藤正治『慾齋研究
会だより』(66-67)6-7,6-8
- 「江戸中期における木曾薬種と本草学者」後藤尚夫『慾齋研
究会だより』(64)2-7
- 「美濃の近世の動き—科学の源流と背景—」丸山幸太郎『慾
齋研究会だより』(67)2-5

55 麻酔学史麻酔学史

- 「明治、大正、昭和初期における胸部外科手術のための麻酔
の発展の歴史(1)異庄(過庄)vs.平庄開胸論争を顧みて(総
説)」藤田俊夫『臨床麻酔』18(4,5)443-451,587-591
- 「華岡青洲の麻酔法の普及—福井における橋本左内による二
手術について(抄)」松木明知『日本医史学雑誌』40(1)82-83
- 「麻酔科学史の温故知新 なぜ歴史的研究が必要なのか」松
木明知『日本臨床麻酔学会誌』14(3)213-215

57 薬学史

- 「ヘボンが見た日本の薬」天野宏、川淵美奈子、田中淑子、
杉原正泰『薬史学雑誌』29(1)73-78
- 「丹波敬三、森鷗外の医薬分業論」天野宏、川淵美奈子、田
中淑子、斎藤明美、杉原正泰『薬史学雑誌』29(1)9-14
- 「富山売薬商人の歴史像」植村元覚『北陸医史』15(1)3-8

「抗アレルギー薬の歴史と展望」江田昭英『アレルギーの領域』1(9)1078-1083

「カリクレイン(カリジノゲナーゼ)開発の軌跡」大島幸助『薬史学雑誌』29(3)498-507

「明治はじめの京都の薬事政策—調剤資格の施策をめぐって—(抄)」小野尚香、多田穠浩三『日本医史学雑誌』40(1)34-35

「ACE阻害薬の歴史(1)」上月正博、阿部圭志『BIO Clinica』9(9)681-684

「ACE阻害薬の歴史(3)」金沢雅之、阿部圭志『BIO Clinica』9(12)916-918

「江戸中期の木曾谷における薬種に関する一回状」後藤尚夫、田中俊弘、山口茂治『薬史学雑誌』29(1)1-8

「明治時代の薬物展覧会について(補遺)」小山鷹二『薬史学雑誌』29(1)42-46

「薬史学部会シンポジウム [薬学の建設者田原良純のふぐ毒発見より百年『ふぐ毒研究の薬史的考察』] 一世紀にわたるふぐ毒テトロドトキシンの研究」酒井浄『薬史学雑誌』29(3)435-440

「日本薬史学会編 [日本医薬品産業史] まえがき」柴田承二『薬史学雑誌』29(2)112-115

「着色科生薬の本草学的研究(第3報)鼠尾草」清水考重、井上建夫、水野端夫『薬史学雑誌』29(1)15-21

「蘭学の背景(美作の場合)」下山純正『津山洋学資料館』(25)10-12

「薬史学部会シンポジウム [薬学の建設者田原良純のふぐ毒

発見より百年『ふぐ毒研究の薬史的考察』] ふぐ毒研究の薬史的考察」末廣雅也『薬史学雑誌』29(3)428-434

「L-threo-DOPSの開発の歴史」鈴木友和『Progress (in) Medicine』14(3)470-489

「日本薬史学会編 [日本医薬品産業史] 第4部 医薬品開発の記録」製薬協加盟34社『薬史学雑誌』29(2)232-421

「科学史の視点からみた薬剤師活性化への提言」高橋晟、三澤美和、柳浦才三『薬史学雑誌』29(1)22-31

「C.P.ツェンベリーと日本(第4報)水銀水療法について」高橋文『薬史学雑誌』29(1)47-54

「C.P.ツェンベリーと日本(第5報)続水銀水療法について」高橋文『薬史学雑誌』29(1)55-63

「近代病院薬剤師の職業専門化の歴史的過程(第3報)臨床医学と臨床薬学の誕生」辰野美紀『薬史学雑誌』29(3)489-497

「薬史学部会シンポジウム [薬学の建設者田原良純のふぐ毒発見より百年『ふぐ毒研究の薬史的考察』] フグ毒研究史100年の所感」津田恭介『薬史学雑誌』29(3)424-427

「薬史学部会シンポジウム [薬学の建設者田原良純のふぐ毒発見より百年『ふぐ毒研究の薬史的考察』] テトロドトキシンの薬理および生物化学の研究」中山仁『薬史学雑誌』29(3)441-445

「仙台藩の医師 [高屋家] に伝えられた薬箱について」那須務、吉崎文彦、草野源次郎、奥山徹『薬史学雑誌』29(3)484-488

「患者への薬剤情報提供 日本での取り組みの歴史と今後」

浜六郎、別府宏圀『臨床と薬物治療』13(4)387-389
 「『肥後国球麻郡米良山産物帳』所載の薬用植物の研究」浜田善利『薬史学雑誌』29(3)463-468
 「雑録 大黃、サルトリイバラ根、人参、もぐさ-16、17世紀のヨーロッパにおける東アジアの生薬-」ヴォルフガング・ツェザー、宮本法子(訳)『薬史学雑誌』29(3)508-510
 「家庭配置薬業の現状と諸問題(抄)」松下正巳『日本医史学雑誌』40(1)36-37
 「オーファン ドラッグの歴史」南田安紀『薬事36』(8)1811-1816
 「シーボルトの散瞳点眼薬」宮崎正夫『薬史学雑誌』29(3)469-483
 「ドイツ薬局サイン [Apotheken-A] の変遷」宮本法子『薬史学雑誌』29(1)79-83
 「日本薬局方に見られた向精神・神経薬の変遷(その7)かのこそう(纈草)の生産(栽培)に関する一考察」柳沢清久、山田光男、松本仁人『薬史学雑誌』29(1)64-72
 「薬学教育百年の史的考察」山川浩司『薬史学雑誌』29(3)446-462
 「日本薬史学会編 [日本医薬品産業史] 第1部 日本医薬品産業の特質」山川浩司『薬史学雑誌』29(2)116-126
 「日本薬史学会編 [日本医薬品産業史] 第3部 日本医薬品産業現代史」山川浩司『薬史学雑誌』29(2)177-231
 「近代日本医薬品産業の発展(その4)第3回改正薬局方(JP III)公布明治39年(1906)より第4改正日本薬局方(JPIV)公

布大正9年(1920)までの医薬品事情」山田久雄『薬史学雑誌』29(1)32-41
 「日本薬史学会編 [日本医薬品産業史] 第2部 日本医薬品産業近代史」山田久雄『薬史学雑誌』29(2)127-176
 「家康の実学 医薬との接点」山田英雄『現代医学』41(3)607-611
 「F.I.P.1993年国際薬学会議 [薬史・History of Pharmacy] 部会に参加して」山田光男『薬史学雑誌』29(1)84
 「ACE阻害薬の歴史(2)」吉田一徳、阿部圭志『BIO Clinica』9(11)836-838

58 蘭学史

「蘭学のフランスからの影響-A.リシェランを、その一例として-」石田純郎『洋学資料による日本文化史の研究』(7)73-85
 「蘭学の背景(美作の場合)」下山純正『津山洋学資料館』(24)8-10
 「千葉大学附属図書館玄鼻分館の所蔵する貴重な蘭学資料展示会開催にちなんで」湯浅富士夫『千葉医学雑誌』70(5)343-347

59 リハビリテーション関係史

「日清・日露戦争時の恩賜の義肢の研究-リハビリテーション史の視点から-(抄)」坪井良子『日本医史学雑誌』40(1)72-73

「明治期における恩賜の義肢の研究リハビリテーションの視点から」坪井良子『自治医科大学看護短期大学紀要』(3)29-39

60 検 査

「明治初期の尿糖検査(会議録)川端邦弘、外3名『医学検査』43(3)653

「日本の臨床検査の歴史と今日的諸問題(抄)」黒川一郎『Laboratory and Clinical Practice』12(2)133

「慢性胃炎 なぜシドニー・システムか“胃炎”と内視鏡 その分類と歴史の変遷」竹本忠良『消化器内視鏡』6(8)971-978

61 そ の 他

「貴重な資料を残すために」宇賀正一『科学医学資料研究』(239)1-10

「今月の誌上ギャラリー 16世紀初頭の病棟」酒井シヅ『循環科学』14(1)巻末

「今月の誌上ギャラリー シーボルトの瀉血手術図」酒井シヅ『循環科学』14(2)巻末

「今月の誌上ギャラリー 礼拝堂と病人の癒し」酒井シヅ『循環科学』14(3)巻末

「今月の誌上ギャラリー 健康と病氣」酒井シヅ『循環科学』14(4)巻末

「今月の誌上ギャラリー アヴィセンナの『医学典範』」酒井シヅ『循環科学』14(5)巻末

「今月の誌上ギャラリー 18世紀イタリアの薬局の内景」酒

井シヅ『循環科学』14(6)巻末

「今月の誌上ギャラリー 房事養生鑑」酒井シヅ『循環科学』14(7)巻末

「今月の誌上ギャラリー 挿絵画家Max Broedel(1870-1941)」酒井シヅ『循環科学』14(8)巻末

「今月の誌上ギャラリー 聖なる僧正の奇跡の治療」酒井シヅ『循環科学』14(9)巻末

「今月の誌上ギャラリー マレーの携帯用脈波描写器」酒井シヅ『循環科学』14(10)巻末

「今月の誌上ギャラリー 小さな看護婦」酒井シヅ『循環科学』14(11)巻末

「今月の誌上ギャラリー 心臓手術」酒井シヅ『循環科学』14(12)巻末

「順天堂」酒井シヅ『本郷』(7)2-17

「五代將軍綱吉の儒書御講釈」宗田一『啓迪』(12)1-3

「ストレス研究の歴史」出村博『Mebio 11』(8)10-15

「日本における食品分析の起源(抄)」寺畑喜朔『日本医史学雑誌』40(1)44-45

「食品成分表のあゆみと今後 わが国の食品成分表の歴史成立とその活用」山下光雄、勝川史憲、辻秀一、外2名『臨床栄養』84(1)30-35

60 中国語文献(北里研究所東医研医史学研究所担当)

「台湾原住民之医薬考察」哈鴻潜・高田『中華医史雑誌』24(1)5-8

- 「中国古代医政特点及其对当今医政之启示」梁峻『中華医史学雜誌』24(1)9-14
- 「早期医学名詞統一工作：博医会的努力和影響」張大慶『中華医史雜誌』24(1)15-19
- 「晚清四川普及類医著的產生和影響」和中浚『中華医史学雜誌』24(1)20-22
- 「清末北京内外城居民死因分析」游金生『中華医史雜誌』24(1)23-24
- 「葡萄原產地及传入時間考弁」王興國·王旭『中華医史雜誌』24(1)25-26
- 「傣泰傳統医学的可比性」明全忠·趙遠『中華医史雜誌』24(1)27-29
- 「美尼爾與美尼爾病」王志斌·譚慎微『中華医史雜誌』24(1)30-32
- 「亨利·西格里斯与中国医学界的聯系及其影響」李劍『中華医史雜誌』24(1)33-37
- 「〈証類本草〉陶序和〈名医別錄〉歷史關係之弁析」尚志鈞『中華医史雜誌』24(1)38-40
- 「程充生卒考」張一群『中華医史雜誌』24(1)40
- 「論〈中国医学通史〉古代卷編寫諸問題」李經緯『中華医史雜誌』24(1)41-46
- 「法医学的萌芽」賈静濤『中華医史雜誌』24(1)47-49
- 「楊樹勛與新惜花散」宋之琪『中華医史雜誌』24(1)49
- 「陳立夫先生關於復興中医藥学的談話」朱建平『中華医史雜誌』24(1)50-53
- 「西方古代医学」程之范『中華医史雜誌』24(1)54-60
- 「讀馬繼興先生〈馬王堆古医書考釈〉文鈔·孫中堂」『中華医史雜誌』24(1)61-63
- 「〈希波克拉底文集〉中的肛瘻挂線療法」趙洪鈞『中華医史雜誌』24(1)64
- 「五臟図考」靳士英『中華医史雜誌』24(2)68-77
- 「〈素問〉“七篇大論”運氣不同推算方式之分析」廖育群『中華医史雜誌』24(2)78-84
- 「方以智—中西医学匯通思想的啓蒙者」丁珏『中華医史雜誌』24(2)85-90
- 「西方心臟病学史略」高潮·夏東民『中華医史雜誌』24(2)91-98
- 「1925年美国医生在烟台毓璜頂医院手術治療鼻息肉」楊華祥『中華医史雜誌』24(2)98
- 「藥物化学的產生和發展」馬曉微『中華医史雜誌』24(2)99-104
- 「海南中医藥發展史料」林詩泉·林書勇『中華医史雜誌』24(2)105-107
- 「傑出的藏医药学家蘇喀·羅哲傑布」因布旦考·本考『中華医史雜誌』24(2)108-110
- 「秦漢時期風俗習尚与医药文化」鄭懷林『中華医史雜誌』24(2)111-114
- 「中世紀的医学」程之范『中華医史雜誌』24(2)115-121
- 「剖腹產術小史」甄橙『中華医史雜誌』24(2)121
- 「一本流傳迅速的婦科史書」朱國慶『中華医史雜誌』24(2)122-124
- 「明代物理降溫療法史料一則」張北野『中華医史雜誌』24(2)124

「紀念毛沢東同志誕辰100周年座談會紀要」洪武婁『中華医史雜誌』24(2)125-126

「唐代御纂方書的歷史價值」張洪義『中華医史雜誌』24(2)126

「中華医藥文化研討會紀要」張文·辛智科『中華医史雜誌』24(2)127-128

「《怪疾奇方》作者小考」蔡永敏『中華医史雜誌』24(2)129

「近五年来中国医学史研究的進展」李經緯·朱建平『中華医史雜誌』24(3)133-137

「萊姆病的發現与研究簡史」汪桂清·吳紅艷『中華医史雜誌』24(3)138-140

「湖北荊門包山二号楚墓墓主死因初探」后德俊·史珞琳『中華医史雜誌』24(3)141-143

「人工心臟起伝技術探源」劉治晏『中華医史雜誌』24(3)144-147

「荷蘭据台時期之医学」哈鴻潛·高田『中華医史雜誌』24(3)148-150

「江筆花医事史料」趙国華·曾慧敏『中華医史雜誌』24(3)150,185

「1912~1927年間的中國食品衛生簡介」李小芳·王曉玲『中華医史雜誌』24(3)151-153

「人体解剖在近代中国的实施」曹麗娟『中華医史雜誌』24(3)154-157

「元代医事年表」高偉『中華医史雜誌』24(3)158-162

「《居延漢簡甲乙編》中医藥史料」趙宇明·劉海波·劉掌印『中華医史雜誌』24(3)163-166

「福爾克曼及福爾克曼氏欠血性萎縮」吳辛『中華医史雜誌』24(3)166

「論大食国藥品一無名異」宋峴『中華医史雜誌』24(3)167-171

「藏医妊娠生理及胚胎学初探」洪武婁『中華医史雜誌』24(3)172-174

「方成培与鄭氏喉科」鄭日新『中華医史雜誌』24(3)175-177

「子宮脫垂治療小史」甄橙『中華医史雜誌』24(3)177

「雜卒考」趙洪鈞『中華医史雜誌』24(3)178-182

「《五十二病方》瀰与薛別积」孫啓明『中華医史雜誌』24(3)182

「止血鉗的改進」思梅『中華医史雜誌』24(3)182

「宋代婦產科学」孔淑真『中華医史雜誌』24(3)183-185

「文芸復興時期的医学」程之范『中華医史雜誌』24(3)186-190

「尚志鈞輯《新修本草》特色評述」劉大培『中華医史雜誌』24(3)191-192

「狂犬病流行簡史」嚴家新·潘南勝『中華医史雜誌』24(4)196-199

「認識肝炎病毒的歷史」胡国強·朱建新『中華医史雜誌』24(4)200-202

「酒病与解酒考略」万芳·鍾嶺生·劉連起·高偉軍『中華医史雜誌』24(4)203-206

「《諸病源候論》对中国古代精神病学發展的貢獻」黃健『中華医史雜誌』24(4)207-210

「免疫机制認識的深化与腎臟移植歷史」梁興邦·梁宏鋒『中華医史雜誌』24(4)211-214

「上海近代中医教育概述」楊杏林·陸明『中華医史雜誌』24(4)

215-218

- 「経脈病候考源」黄龍祥『中華医史雜誌』24(4)219-222
 「〈希波克拉底文集〉中の小夾板治療骨折」趙洪鈞『中華医史雜誌』24(4)222
 「台湾医薬衛生史料(1895~1945)」于永敏・王忠云『中華医史雜誌』24(4)223-228
 「具有性与〈温疫論〉」陳揚榮『中華医史雜誌』24(4)228
 「古代彝医史料瑣談」阿子阿越『中華医史雜誌』24(4)229-232
 「膀胱陰道瘻治療小史」甄橙『中華医史雜誌』24(4)232
 「傅連璋和衛生予防」傅維康『中華医史雜誌』24(4)233-235
 「〈養生延命錄〉作者考」程軍・張秉倫『中華医史雜誌』24(4)236-237
 「黄奭輯〈本草經〉增補23条佚文匯考」王家葵・孫啓明『中華医史雜誌』24(4)238-239
 「宋代的軍事医学」龔純『中華医史雜誌』24(4)240-243
 「中医学之夢幻認識史考略」洪必良『中華医史雜誌』24(4)244-247
 「西方17世紀的医学」程之范『中華医史雜誌』24(4)248-253
 「中国近代最早學習西医的人—閔韜」宋之琪『中華医史雜誌』24(4)256

63 韓国語文献 (文字データベース化のため英文タイトルのある論文のみ採用)

HWAMG, Sang-Ik : Reform of the Medical Education in the Early 20th Century America and the Flexner report

of 1910. Kor. J. Med. Hist. 3(1), 1-19

- LEE, Jong-Chan : The Development of German Social Medicine in the Nineteenth Century. Kor. J. Med. Hist. 3(1), 20-29
 LEE, Tae-Jun : The Mode of Medical Inference in the History of Medicine. Kor. J. Med. Hist. 3(1), 30-37
 CHUN, Hong-Joon : Some Tentative Cases of the Holistic Approach to Health Care. Kor. J. Med. Hist. 3(1), 38-48
 SEO, Hong-Gwan : Textbooks of Western Medicine in the Early Modernization Period. Kor. J. Med. Hist. 3(1)49-56
 HWANG, Sang-Ik/KEE, Chang-Duck : Analysis of Services of Medical Missonaries During the Late Yi-Dynasty and the Era of the Japanese Occupation in Korea. Kor. J. Med. Hist. 3(1)57-71
 KEE, Chang-Duk : Modernization Process of the Medical Education in Korea. Kor. J. Med. Hist. 3(1), 72-129
 RHI, Bou-Yong : Psychiatric Care and its Change under the Japanese Government in Korea with the Special Reference to the Clinical Activities at the Colonial Governmental Hospital. Kor. J. Med. Hist. 3(2), 147-169
 KEE, Chang-Duck;The Korean Doctors Who Studied Medicine Abroad. Kor. J. Med. Hist. 3(2), 170-192
 LEE, Jong-Chan : A Comparative Analysis of Two Historical Approaches to the Formation of the Modern Chinal Medicine. Kor. J. Med. Hist. 3(2), 193-207

YEO, In-Sok/HWANG, Sang-Ik; A Historical Study on the Introduction and Development of Anatomy in Japan. *Kor. J. Med. Hist.* 3(2), 208-219

JEONG, Woo-Yeal : The Philosophy & Medical Thought of Dong Mu Lee Jae-Ma. *Kor. J. Med. Hist.* 3(2), 220-231

SHIN, Soon-Shik : A Study on Background of Doctrine for Seasonal Febrile Diseases. *Kor. J. Med. Hist.* 3(2), 232-251

64 歐文文獻

GENTILCORE, David : "All That Pertains to Medicine": *Protomedici* and *Protomedicati* in Early Modern Italy : *Med. Hist.* : 38(2)121-142

HARLEY, David : "Bred up in the Study of That Faculty": Licensed Physicians in North-West England, 1660-1760 : *Med. Hist.* : 38(4)398-420

HUGHES, John S. : "Country Boys Make the Best Nurses": Nursing the Insane in Alabama, 1861-1910 : *J. Hist. Med. Allied Sci.* : 49(1)79-106

BENZENÖFER, Udo : "*Haec ad perfectum chirurgicum*": Theophrast von Hohenheims Forderungen in bezug auf die Ethik in der Chirurgie : *Sudhoffs Arch.* : 78(1)107-112

BRICKMAN, Jane P. : "Medical McCarthyism": The Physicians Forum and the Cold War : *J. Hist. Med. Allied Sci.* : 49(3)380-418

MORRICE, Andrew A. G. : "The Medical Pundits": Doc-

tors and Direct Advertising in the Lay Press : *Med. Hist.* : 38(3)255-280

JOHNSTON, William : A Genealogy of Tubercular Diseases in Japan : *So. Hist. Med.* : 7(2)247-267

MANCHESTER, Keith/KNÜSEL, Christopher : A Medieval Sculpture of Leprosy in the Cistercian Abbaye de Cadouin : *Med. Hist.* : 38(2)204-206

EDELSON, Paul J. : Adopting Osler's Principles: Medical Textbooks in American Medical Schools, 1891-1906 : *Bull. Hist. Med.* : 68(1)67-84

PRESTON, Samuel H. : Demography and History around 1900: A Symposium on Fatal Years-After Fatal Years: Responses and Future Research : *Bull. Hist. Med.* : 68(1) 124-128

ESTES, J. Worth : American Association for the History of Medicine: Report of the Sixty-seventh Annual Meeting : *Bull. Hist. Med.* : 68(3)491-502

GOEBEL, Thomas : American Medicine and the "Organizational Synthesis": Chicago Physicians and the Business of Medicine, 1900-1920 : *Bull. Hist. Med.* : 68(4)639-663

GALLEY, Chris : A Never-Ending Succession of Epidemics? Mortality in Early-Modern York : *So. Hist. Med.* : 7(1)29-57

Heidrun Helga Reissenweber : Arzneipflanzengarten in Japan: Wandel und Kontinuität in der Arzneikunde der

- Edo-Zeit(1600–1868) Zum gesellschaftlichen, ökonomischen und weltanschaulichen Kontext naturkundlichen wissens : Dissertation zum Erwerb des Doktorgrades der Medizin an der Medizinischen Fakultät der Ludwig-Maximilians-Universität zu München : München :
- LINDEE, M. Susan : Atonement: Understanding the No-Treatment Policy of the Atomic Bomb Casualty Commission : Bull. Hist. Med. : 68(3)454-490
- VANDAM, Leroy D. : Benjamin Perley Poore and His Historical Materials for a Biography of W. T. G. Morton, M. D. : J. Hist. Med. Allied Sci. : 49(1)5-23
- KOEHLER, P. J. : Brown-Séquard's Spinal Epilepsy : Med. Hist. : 38(2)189-203
- SCHLICH, Thomas : Changing Disease Identities: Cretinism, Politics and Surgery (1844-1892) : Med. Hist. : 38(4)421-443
- KEARNS, Gerry : Demography and History around 1900: A Symposium on Fatal Years-Class and Environment in Fatal Years : Bull. Hist. Med. : 68(1)113-123
- ADAMS, David P. : Community and Professionalization: General Practitioners and Ear, Nose, and Throat Specialists in Cincinnati, 1945-1947 : Bull. Hist. Med. : 68(4) 664-684
- LERNER, Barron H. : Constructing Medical Indications: The Sterilization of Women with Heart Disease or Tuberculosis, 1905-1935 : J. Hist. Med. Allied Sci. : 49(3) 362-379
- JACYNA, Stephen : Construing Silence: Narratives of Language Loss in Early Nineteenth-Century France : J. Hist. Med. Allied Sci. : 49(3)333-361
- LOCHER, Wolfgang : Der erste medizinische Studienkatalog an der Universität Erlangen : Sudhoffs Arch. : 78(2)237-241
- STURLESE, Rita : Die Gedächtniskunst zwischen Bruno und Leibniz. Die mnemotechnischen Schriften des Adam Brux, Arzt und Paracelsianer : Sudhoffs Arch. : 78(2)192-219
- FOX, Enid : District Nursing in England and Wales before the National Health Service: The Neglected Evidence : Med. Hist. : 38(3)303-321
- TANNENBAUM, Rebecca J. : Earnestness, Temperance, Industry: The Definition and Uses of Professional Character among Nineteenth-Century American Physicians : J. Hist. Med. Allied Sci. : 49(2)251-283
- CROFT, L. R. : Edmund Gosse and the "New and Fantastic Cure" for Breast Cancer : Med. Hist. : 38(2)143-159
- ABEL, Emily K. : Family Caregiving in the Nineteenth Century: Emily Hawley Gillespie and Sarah Gillespie, 1858-1888 : Bull. Hist. Med. : 68(4)573-599
- MARKS, Harry M. : Demography and History around 1900: A Symposium on Fatal Years-Fatal Years: An

- Introduction to the Symposium : Bull. Hist. Med. : 68(1)
86-94
- BROWN, Edward M. : French Psychiatry's Initial Reception of Bayle's Discovery of General Paresis of the Insane : Bull. Hist. Med. : 68(2)235-253
- CASH, Philip/ HIGOMOTO, Yoshio : Further Information Concerning Dr. Benjamin Waterhouse's Appointment as Harvard's First Professor of Medicine : J. Hist. Med. Allied Sci. : 49(3)419-428
- PORTER, Roy : Gout: Framing and Fantasizing Disease : Bull. Hist. Med. : 68(1)1-28
- ZIETHEN, Gabriele : Heilung und römischer Kaiserkult : Sudhoffs Arch. : 78(2)171-191
- ROSNER, Fred : Hemophilia in Classic Rabbinic Texts : J. Hist. Med. Allied Sci. : 49(2)240-250
- KING, Roger : John Hunter and the Natural History of the Human Teeth: Dentistry, Digestion, and the Living Principle : J. Hist. Med. Allied Sci. : 49(4)504-520
- MECKEL, Richard A. : Demography and History around 1900: A Symposium on Fatal Years--Judging Progressive--Era Infant Welfare in Light of Fatal Years--and Vice Versa : Bull. Hist. Med. : 68(1)105-112
- CAMPBELL, Kristine A. : Knots in the Fabric: Richard Pearson Strong and the Bilibid Prison Vaccine Trials, 1905-1906 : Bull. Hist. Med. : 68(4)600-638
- CONNOR, J. T. H. : Listerism Unmasked: Anitsepsis and the Asepsis in Victorian Anglo-Canada : J. Hist. Med. Allied Sci. : 49(2)207-239
- RUXIN, Joshua N. : Magic Bullet: The History of Oral Rehydration Therapy : Med. Hist. : 38(4)363-397
- KEIL, Gundolf : Magister giselbertus de villa parisiensi. Beobachtungen zu den Kranewittbeeren und Gilberts pharmakologischem Renommé: Sudhoffs Arch. : 78(1)80-89
- WEISZ, George : Mapping Medical Specialization in Paris in the Nineteenth and Twentieth Centuries : So. Hist. Med. : 7(2)177-211
- LENEMAN, Leah : Medical Women at War, 1914-1918 : Med. Hist. : 38(2)160-177
- APPELBAUM, Paul S. : Mental Health Law and Ethics in Transition: A Report from Japan : Hospital and Community Psychiatry : 45(7)635-644
- TANSEY, E. M. / CATTERALL, P. P. : Monoclonal Antibodies: A Seminar in Contemporary Medical History : Med. Hist. : 38(3)322-327
- SCHLEINER, Winfried : Moral Attitudes toward Syphilis and Its Prevention in the Renaissance : Bull. Hist. Med. : 68(3)389-410
- SZRETER, Simon : Mortality in England in the Eighteenth and the Nineteenth Centuries: A Reply to Sumit Guha : So. Hist. Med. : 7(2)269-282

- WEST, Michael O. : Nationalism, Race, and Gender: The Politics of Family Planning in Zimbabwe, 1957-1990 : So. Hist. Med. : 7(3)447-471
- KRUSE, Von Britta-J. : Neufund einer handschriftlichen Vorstufe von Eucharius Rößlins Hebammenlehrbuch *Der schwangeren Frauen und Hebammen Rosengarten* und des *Frauenbüchleins* Ps. -Ortolfs : Sudhoffs Arch. : 78(2)220-236
- RICHARDSON, W. F. / CARMAN, J. B. : On Translating Vesalius : Med. Hist. : 38(3)281-302
- HUDDLE, Thomas S. / ENDE, Jack : Osler's Clinical Clerkship: Origins and Interpretations : J. Hist. Med. Allied Sci. : 49(4)483-503
- PENNINGTON, T. H. : Osteotomy as an Indicator of Antiseptic Surgical Practice : Med. Hist. : 38(2)178-188
- NOLL, Steven : Patient Records as Historical Stories: The Case of Caswell Training School : Bull. Hist. Med. : 68(3) 411-428
- BELLEMORE, Jane/ PLANT, Ian M. / CUNNINGHAM, Lynne M. : Plague of Athens-Fungal Poison? : J. Hist. Med. Allied Sci. : 49(4)521-545
- HAIKEN, Beth : Plastic Surgery and American Beauty at 1921 : Bull. Hist. Med. : 68(3)429-453
- HARLEY, David : Political Post-Mortems and Morbid Anatomy in Seventeenth-Century England : So. Hist. Med. : 7(1)1-28
- TANSEY, E. M. : Protection against Dog Distemper and Dogs Protection Bills: The Medical Research Council and Anti-Vivisectionist Protest : Med. Hist. : 38(1)1-26
- BURLEIGH, Michael : Psychiatry, German Society, and the Nazi 'Euthanasia' Programme : So. Hist. Med. : 7(2) 213-228
- STOLBERG, Michael : Public Health and Popular Resistance: Cholera in the Grand Duchy of Tuscany : Bull. Hist. Med. : 68(2)254-277
- GIBSON, William C. : Ramon y Cajal and His School: Personal Recollections : J. Hist. Med. Allied Sci. : 49(4) 546-564
- SULLIVAN, Robert B. : Sanguine Practices: A Historical and Historiographic Reconsideration of Heroic Therapy in the Age of Rush : Bull. Hist. Med. : 68(2)211-234
- WINSTON, Mark : The Bethel at Norwich: An Eighteenth-Century Hospital for Lunatics : Med. Hist. : 38(1)27-51
- LOMAX, Elizabeth : The Control of Contagious Disease in Nineteenth-Century British Paediatric Hospitals : So. Hist. Med. : 7(3)383-400
- WARD, Lorraine : The Cult of Relics: Pasteur Material at the Science Museum : Med. Hist. : 38(1)52-72
- LUMEY, L. H. / VAN POPPEL, F. W. A. : The Dutch Famine of 1944-45: Mortality and Morbidity in Past and Present Generations : So. Hist. Med. : 7(2)229-246

- BRUIJN Iris D. R. : The Health Care Organization of the Dutch East India Company : *So. Hist. Med.* : 7(3)359-381
- FORRESTER, John M. : The Homoeomerous Parts and Their Replacement by Bichat's Tissues : *Med. Hist.* : 38(4)444-458
- HEWA, Soma : The Hookworm Epidemic on the Plantations in Colonial Sri Lanka : *Med. Hist.* : 38(1)73-90
- KILLINGRAY, David : The Influenza Pandemic of 1918-1919 in the British Caribbean : *So. Hist. Med.* : 7(1)59-87
- GARIEPY, Thomas P. : The Introduction and Acceptance of Listerian Antisepsis in the United States : *J. Hist. Med. Allied Sci.* : 49(2)167-206
- FRENCH, Roger K. : The Languages of William Harvey's Natural Philosophy : *J. Hist. Med. Allied Sci.* : 49(1)24-51
- LAL, Maneesha : The Politics of Gender and Medicine in Colonial India: The Countess of Dufferin's Fund, 1885-1888 : *Bull. Hist. Med.* : 68(1)29-66
- GIDNEY, R. D. / MILLAR, W. P. J. : The Reorientation of Medical Education in Late Nineteenth-Century Ontario: The Proprietary Medical Schools and the Founding of the Faculty of Medicine at the University of Toronto : *J. Hist. Med. Allied Sci.* : 49(1)52-78
- MURRAY, John E. : The White Plague in Utopia: Tuberculosis in Nineteenth-Century Shaker Communes : *Bull. Hist. Med.* : 68(2)278-306
- SCHEPERS, R. M. J. : Towards Unity and Autonomy: The Belgian Medical Profession in the Nineteenth Century : *Med. Hist.* : 38(3)237-254
- VOGELE, Jorg P. : Urban Infant Mortality in Imperial Germany : *So. Hist. Med.* : 7(3)401-425
- SCHNELL, Bernhard : Vorüberlegungen zu einer "Geschichte der deutschen Medizinliteratur des Mittelalters" am Beispiel des 12. Jahrhunderts : *Sudhoffs Arch.* : 78(1)90-97
- CONDRAN, Gretchen A. : Demography and History around 1900: A Symposium on Fatal Years-What Fatal Years Tells Us That We Did Not Already Know : *Bull. Hist. Med.* : 68(1)95-104
- STANTON, Jennifer : What Shapes Vaccine Policy? The Case of Hepatitis B in the UK : *So. Hist. Med.* : 7(3)427-446
- KEIL, Gundolf : Zur schweizerischen Pharmaziegeschichte. Anmerkungen zu einer Bibliographie : *Sudhoffs Arch.* : 78(1)113-121